

令和7年度
宿泊税認知度等に関する調査
結果報告書

令和7年10月

大阪府 府民文化部 都市魅力創造局
企画・観光課

目 次

調査の概要.....	1
調査の結果.....	3
I. 府民調査	3
1. 基本情報.....	3
2. 宿泊税の認知度.....	4
3. 宿泊税の満足度.....	6
4. その他.....	9
II. 観光客調査	12
<国内居住者>	12
1. 基本情報.....	12
2. 宿泊税の認知度.....	14
3. 宿泊税の満足度.....	16
4. その他.....	18
<海外居住者>	21
1. 基本情報.....	21
2. 宿泊税の認知度.....	23
3. 宿泊税の満足度.....	25
4. その他.....	27
III. 宿泊事業者調査	30
1. 基本情報.....	30
2. 宿泊税の使い道など.....	31
3. 宿泊税の徴収事務.....	33
4. その他.....	35
調査票.....	39
I. 府民調査	39
II. 観光客調査	42
III. 宿泊事業者調査	45

調査の概要

1. 調査の目的

大阪府の宿泊税制度の認知度や、大阪での観光及び宿泊税の活用状況等に関する満足度等を調査し、事業効果や課題を可視化することで、観光客等のニーズに沿った観光施策の企画・立案等を検討する基礎資料を得る。

2. 調査の方法

府民調査

- (1) 調査対象 18歳以上の大阪府民（日本国籍の有無は問わない）
- (2) 調査方法 インターネットモニターを利用したアンケート調査
- (3) 調査期間 令和7年9月22日（月）～9月26日（金）

観光客調査

- (1) 調査対象 観光客
- (2) 調査方法 大阪府内の主な観光地等において、宿泊客を含む観光客を対象に、街頭における面接聴取によるアンケート調査
- (3) 調査期間 令和7年9月19日（土）～9月26日（金）

宿泊事業者調査

- (1) 調査対象 宿泊税の特別徴収義務者となっているすべての宿泊事業者
- (2) 調査方法 調査票の郵送によるアンケート調査（郵送、インターネットによる回収）
- (3) 調査期間 令和7年9月22日（月）～10月8日（水）
（ただし期間後に到着した調査票も10月15日到着分まで集計対象とした）

3. 回収状況

府民調査

- (1) 有効回収数 1,000 サンプル
- (2) サンプル割付 国勢調査の結果に基づいた性・年代・居住地による割付けで回収

居住地域	男女／年代	18～29歳	30代	40代	50代	60～90歳	計
①大阪市域	男	26	24	28	25	49	152
	女	27	25	28	25	59	164
②北部大阪地域	男	15	14	18	16	33	96
	女	15	14	19	17	42	107
③東部大阪地域	男	16	13	19	18	39	105
	女	16	13	20	19	48	116
④南部大阪地域	男	19	15	22	21	46	123
	女	19	16	23	22	57	137
大阪府全体	男	76	66	87	80	167	476
	女	77	68	90	83	206	524
合計		153	134	177	163	373	1000

(注1) 令和2年国勢調査による

(注2) 表中各地域に含まれる府内市町村の区分は次のとおり。

- ①「大阪市域」
大阪市
- ②「北部大阪地域」
豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、豊能町、能勢町
- ③「東部大阪地域」
守口市、枚方市、八尾市、寝屋川市、大東市、柏原市、門真市、東大阪市、四條畷市、交野市
- ④「南部大阪地域」
堺市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、富田林市、河内長野市、松原市、和泉市、羽曳野市、高石市、藤井寺市、泉南市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村

観光客調査

- (1) 調査地点 関西国際空港、大阪城、難波観光案内所
- (2) 回収数 1,280 票（国内居住 641 票、海外居住 639 票）
- (3) 有効回収数 1,274 票（国内居住 639 票、海外居住 635 票）

調査地点	関西国際空港 (381票)		大阪城 (633票)			難波観光案内所 (260票)			計	
	9/19 (金)	9/20 (土)	9/21 (日)	9/22 (月)	9/23 (火・祝)	9/24 (水)	9/25 (木)	9/26 (金)		
国内居住	80	107	117	77	139	33	28	25	33	639
海外居住	141	53	87	130	83	29	43	26	43	635
計	221	160	204	207	222	62	71	51	76	1,274

宿泊事業者調査

- (1) 発送施設数 1,964 施設
- (2) 対象施設数 1,910 施設（宛先不明等で 54 施設未到達）
- (3) 回収数 763 施設（白紙、廃業等含む）
- (4) 有効回収数 760 施設
- (5) 回収率 38.7%（対象施設数に対する有効回収率）
39.8%（発送施設数に対する有効回収率）

4. 報告書の見方

- (1) 集計結果は、すべて小数点第2位を四捨五入しており、回答比率の内訳と合計が一致しないことがある。
- (2) %は、その質問において有効な回答が得られた数を母数として算出している。
- (3) n= は該当設問において集計母数となる回答数である。

調査の結果

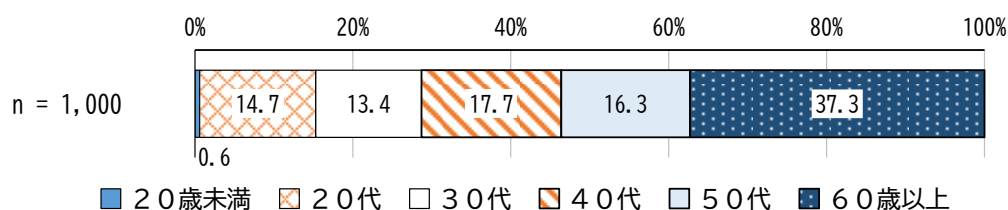
I. 府民調査

1. 基本情報

(1) 年齢

Q 1. あなたの年齢をお知らせください。(1つ選択)

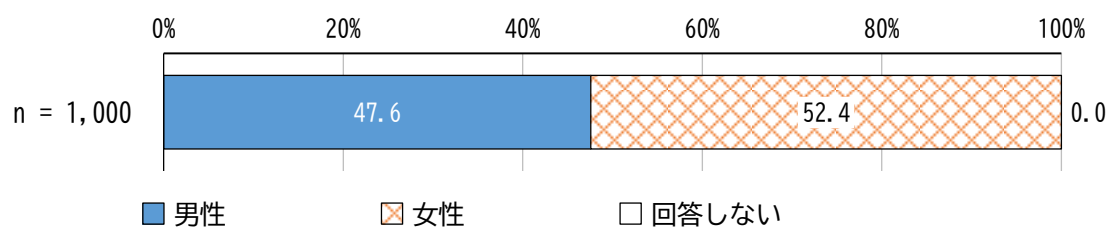
回答者の年齢は「60歳以上」が37.3%で最も高く、次いで「40代」17.7%、「50代」16.3%、「20代」14.7%が続いている。



(2) 性別

Q 2. あなたの性別をお知らせください。(1つ選択)

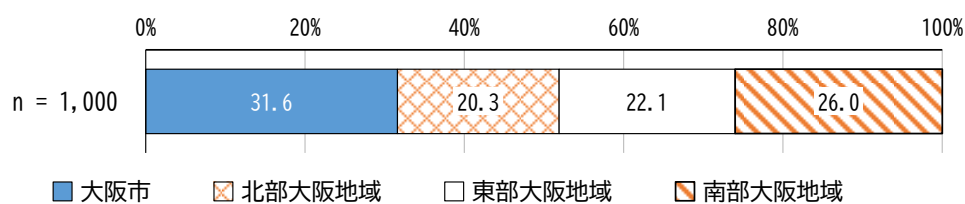
回答者の性別は「男性」が47.6%、「女性」が52.4%となっている。



(3) 居住地

Q 3. あなたが現在お住まいになっている地域についてお知らせください。(1つ選択)

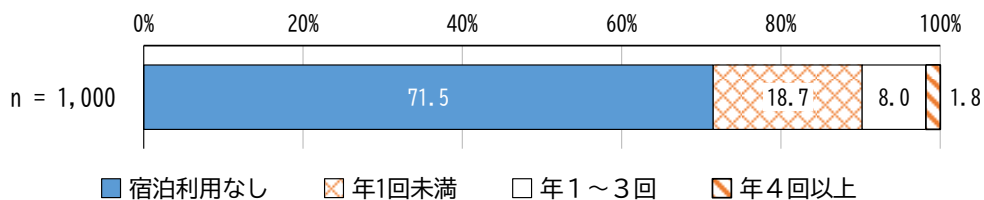
回答者の居住地は「大阪市」が31.6%で最も高く、次いで「南部大阪地域」26.0%、「東部大阪地域」22.1%、「北部大阪地域」20.3%となっている。



(4) 宿泊頻度

Q 4. 大阪府内の宿泊施設の利用頻度についてお知らせください。(1つ選択)

大阪府内の宿泊施設の利用頻度は「宿泊利用なし」が 71.5%で最も高く、「年 1 回未満」が 18.7%、「年 1 ～ 3 回」が 8.0%、「年 4 回以上」が 1.8%となっている。

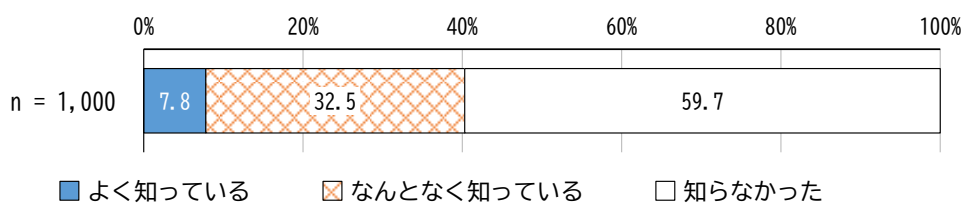


2. 宿泊税の認知度

(1) 「大阪府宿泊税」の認知

Q 5. 「大阪府宿泊税」について知っていますか？(1つ選択)

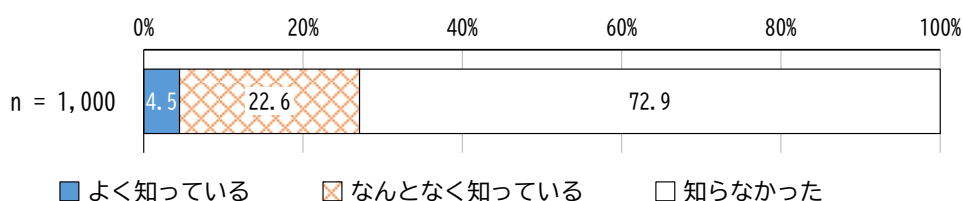
「大阪府宿泊税」の認知は「よく知っている」が 7.8%で「なんとなく知っている」32.5%と合わせた『認知計』が 40.3%、「知らなかった」59.7%となっている。



(2) 宿泊税の使い道の認知

Q 6. 宿泊税の使い道（観光振興・インフラ整備等）を知っていますか？(1つ選択)

宿泊税の使い道の認知は「よく知っている」が 4.5%で「なんとなく知っている」22.6%と合わせた『認知計』が 27.1%、「知らなかった」72.9%となっている。

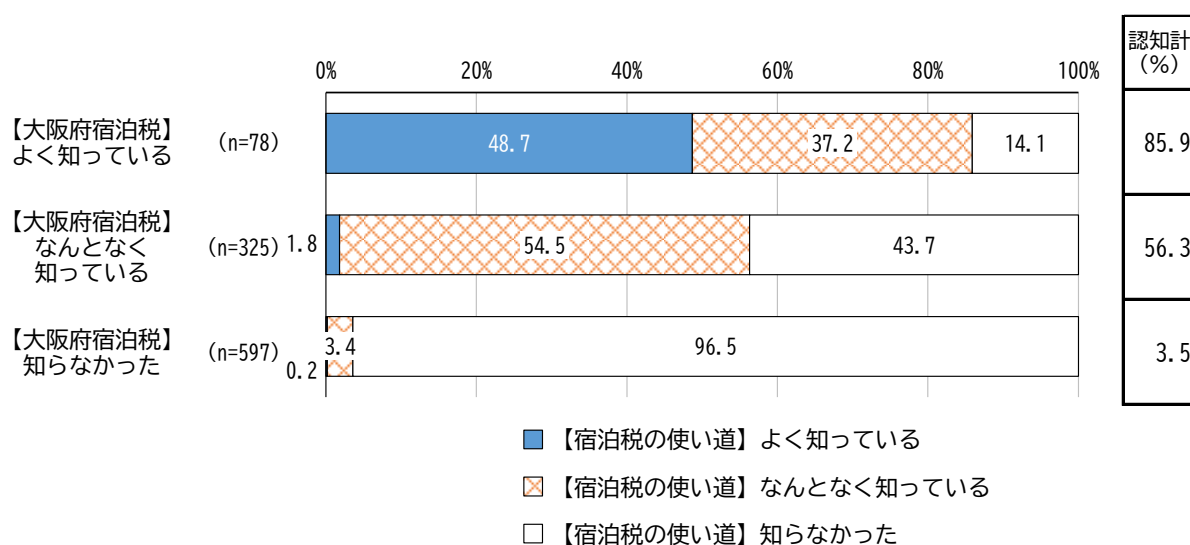


■ 認知度詳細

宿泊税の使い道の認知を「大阪府宿泊税」の認知別にみると、「大阪府宿泊税」を『よく知っている』とした層では宿泊税の使い道の認知も「よく知っている」が48.7%で最も高く、「なんとなく知っている」37.2%と合わせた『認知計』は85.9%となっている。

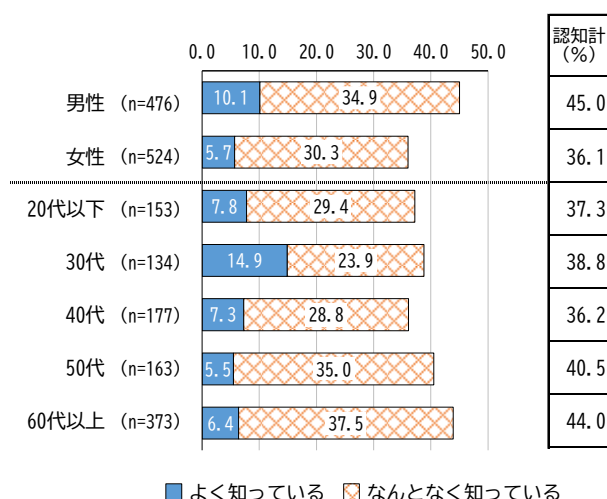
「大阪府宿泊税」の認知が高い層ほど宿泊税の使い道の認知も高く、「大阪府宿泊税」を『なんとなく知っている』とした層では「なんとなく知っている」が54.5%で『認知計』は56.3%、「大阪府宿泊税」を『知らなかった』とした層では宿泊税の使い道の認知も「知らなかった」が96.5%を占め、『認知計』は3.5%となっている。

宿泊税の使い道認知【「大阪府宿泊税」認知別】

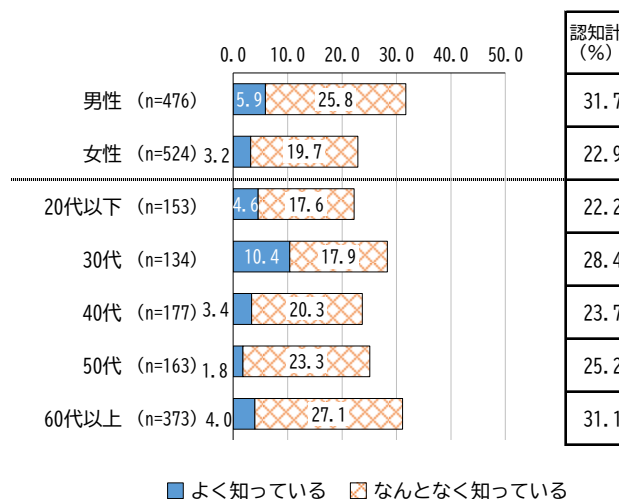


宿泊税の認知度を性別・年代別にみると、性別では「大阪府宿泊税」の認知、宿泊税の使い道の認知ともに『女性』に比べ『男性』で高くなっている。年代別でみると、『60代以上』で最も高く、「大阪府宿泊税」の認知で44.0%、宿泊税の使い道の認知で31.1%となっている。「大阪府宿泊税」の認知では『50代』が40.5%、宿泊税の使い道の認知では『30代』が28.4%で続いている。

「大阪府宿泊税」認知【性別・年代別】



宿泊税の使い道認知【性別・年代別】

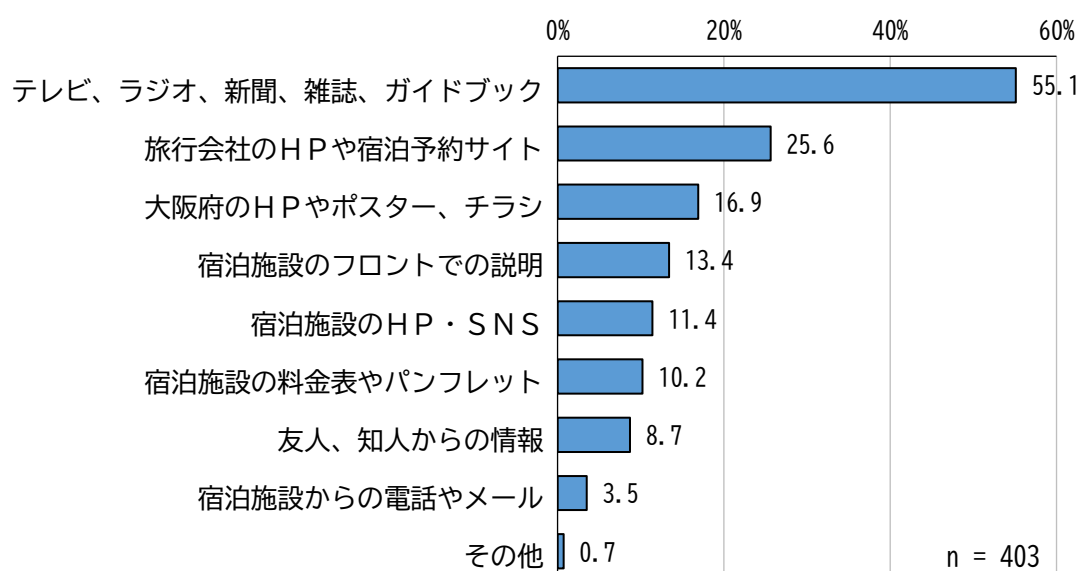


(3) 認知経路

Q 7. 宿泊税について知ったきっかけについて、当てはまるものはどれですか。（複数選択可）

※ Q 5 で「大阪府宿泊税」を「よく知っている」または「なんとなく知っている」とした方

宿泊税の認知経路は「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、ガイドブック」が 55.1% で最も高く、次いで「旅行会社のHPや宿泊予約サイト」25.6%、「大阪府のHPやポスター、チラシ」16.9%、「宿泊施設のフロントでの説明」13.4%が続いている。

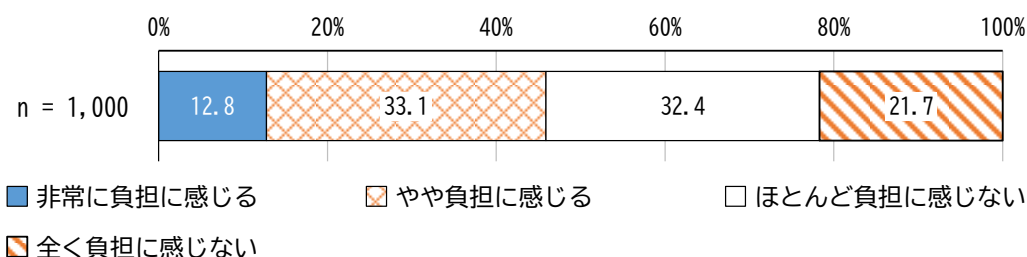


3. 宿泊税の満足度

(1) 宿泊税額の負担感

Q 8. 大阪府宿泊税（1人1泊200～500円）について、負担を感じますか？（1つ選択）

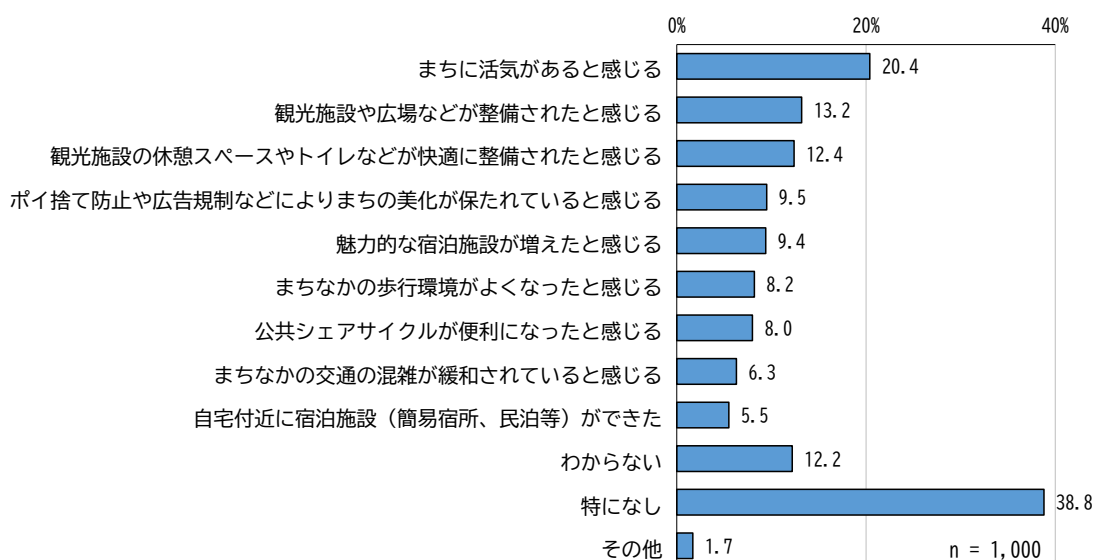
宿泊税額の負担感は「やや負担を感じる」が 33.1% で最も高く、「非常に負担を感じる」12.8% と合わせた『負担を感じる計』が 45.9% となっている。一方、「ほとんど負担に感じない」32.4% と「全く負担に感じない」21.7% を合わせた『負担に感じない計』は 54.1% で、『負担を感じる計』を上回っている。



(2) 大阪の評価

Q 9. 宿泊税は、大阪が世界有数の国際都市として発展していくことをめざし、都市の魅力を高めるとともに、観光の振興を図ることを目的に導入しました。あなたの普段の生活において次のうちあてはまるものはどれですか。（複数選択可）

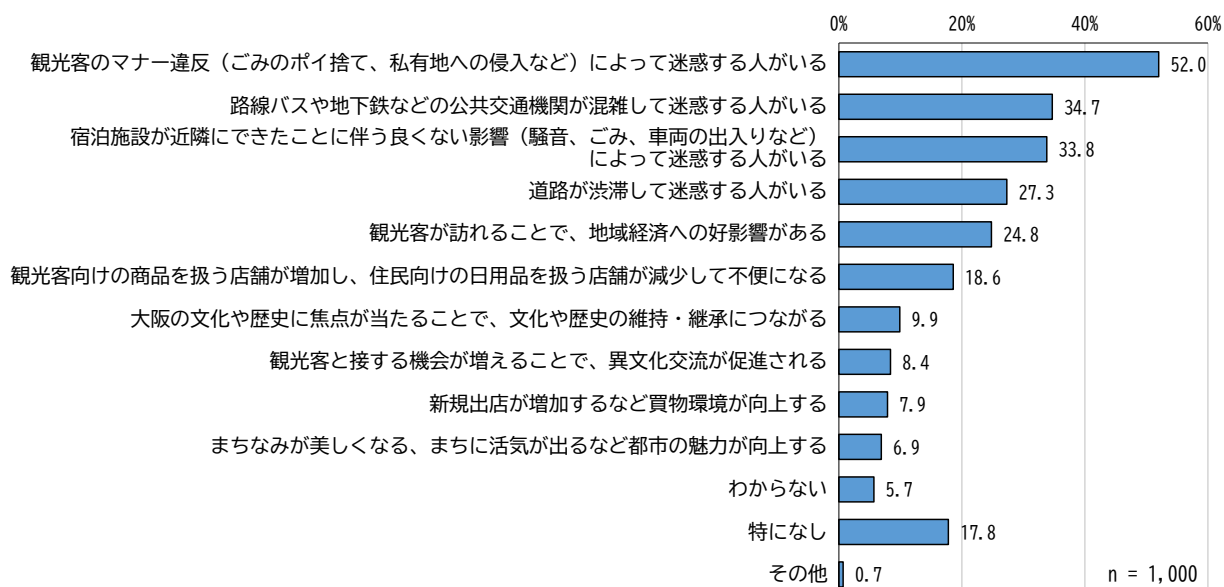
大阪の評価は、「特になし」38.8%を除くと「まちに活気があると感じる」が20.4%で最も高く、次いで「観光施設や広場などが整備されたと感じる」13.2%、「観光施設の休憩スペースやトイレなどが快適に整備されたと感じる」12.4%が続いている。



(3) 外国人観光客の影響

Q10. 自分の住む町に外国人観光客がたくさん訪れることでどのような影響がありますか。（複数選択可）

外国人観光客の影響は「観光客のマナー違反（ごみのポイ捨て、私有地への侵入など）によって迷惑する人がいる」が52.0%で最も高く、次いで「路線バスや地下鉄などの公共交通機関が混雑して迷惑する人がいる」34.7%、「宿泊施設が近隣にできたことに伴う良くない影響（騒音、ごみ、車両の出入りなど）によって迷惑する人がいる」33.8%が続いている。

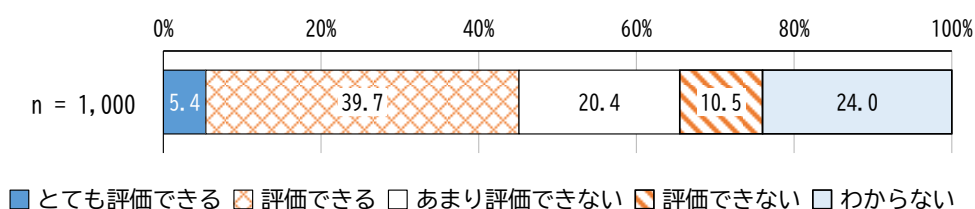


(4) 取組評価

Q11. 大阪府では宿泊税を活用して、旅行者の受入環境の整備や大阪の魅力向上・国内外へのプロモーションの推進に取り組んでいます。それぞれの取組について、当てはまるものを選びください。（それぞれ1つずつ選択）

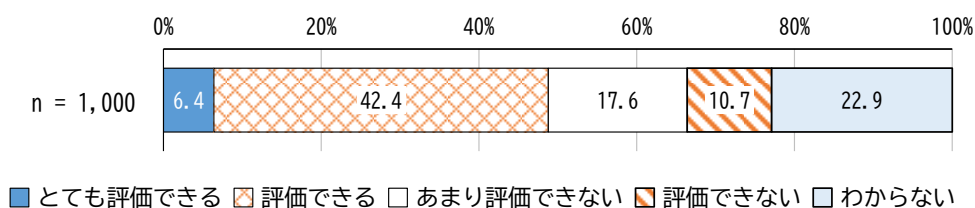
宿泊税を利用した取組の評価は、『①観光客と地域住民相互の目線に立った受入環境整備の推進』については「評価できる」が39.7%で最も高く、「とても評価できる」5.4%と合わせた『評価できる計』が45.1%となっている。一方、「あまり評価できない」20.4%と「評価できない」10.5%を合わせた『評価できない計』は30.9%となっている。

① 観光客と地域住民相互の目線に立った受入環境整備の推進



『②魅力づくり及び戦略的なマーケティング、プロモーションの推進』については「評価できる」が42.4%で最も高く、「とても評価できる」6.4%と合わせた『評価できる計』が48.8%となっている。一方、「あまり評価できない」17.6%と「評価できない」10.7%を合わせた『評価できない計』は28.3%となっている。

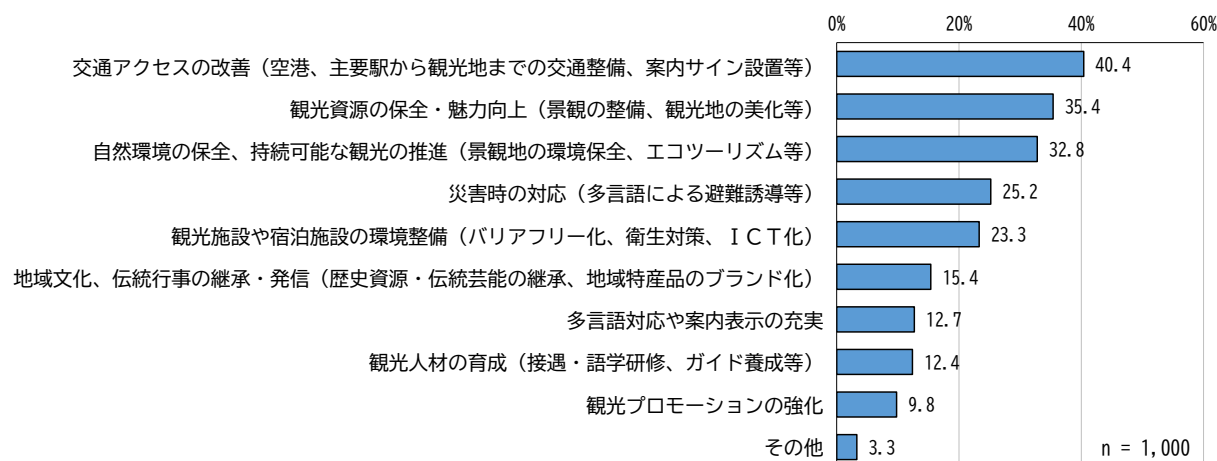
② 魅力づくり及び戦略的なマーケティング、プロモーションの推進



(5) 活用希望分野

Q12. 宿泊税の使い道として、優先的に活用してほしい分野は何ですか？（複数選択可）

宿泊税の活用を希望する分野は「交通アクセスの改善（空港、主要駅から観光地までの交通整備、案内サイン設置等）」が40.4%で最も高く、次いで「観光資源の保全・魅力向上（景観の整備、観光地の美化等）」35.4%、「自然環境の保全、持続可能な観光の推進（景観地の環境保全、エコツーリズム等）」32.8%が続いている。



4. その他

(1) 大阪観光ですすめたい場所やもの

Q13. 大阪観光でおすすめしたい場所やもの、穴場スポット等について、お聞かせください。（自由記載）

観光に関するご意見は、580 人から 641 件のご意見をいただき、主な内容は以下の通り。

主な内容	件数
大阪城・大阪城公園	87
USJ	64
通天閣・新世界	46
食べ物（たこ焼き・お好み焼きなど）	43
万博	36
難波・道頓堀・日本橋	31
万博記念公園	24
天王寺・あべのハルカス	23
箕面	17
梅田	16
海遊館	9
その他	245

(2) 大阪府宿泊税活用事業への要望

Q14. 現在大阪府で取り組んでいる宿泊税を活用した事業で知っている事業や、今後取り組んで欲しいことについて、ご意見をお聞かせください。（自由記載）

大阪府宿泊税事業への要望等は、370 人から 417 件のご意見をいただき、主な内容は以下の通り。

内容	件数	代表的な意見（抜粋）
交通・観光 インフラ整備	78	交通機関の利便性向上
		観光客向け案内の充実
		自転車通行帯の整備
		道路の整備、安全
		コインロッカーの増設、大型荷物預かりの整備
外国人観光客	78	オーバーツーリズム対策
		マナー向上などの啓発事業
公衆衛生 （ゴミ・トイレなど）	61	ゴミ箱の適切な設置・管理
		トイレの清掃
		街の清掃
		路上喫煙の取り締まり
環境整備・美化	58	受入環境整備
		自然環境保全・緑化
		景観の維持・美化
		住環境との共存
その他	142	宿泊税を有効に活用してほしい
		民泊のトラブル解決
		地域の活性化、大阪の発展
		治安維持、繁華街の安全対策

(3) 宿泊税に関するご意見

Q15. その他、宿泊税について、ご意見があればご記入ください。(制度、使い道、広報ツールなど)

宿泊税に関するご意見は、387 人から 449 件のご意見をいただき、主な内容は以下の通り。

内容	件数	代表的な意見（抜粋）
宿泊税制度	83	これ以上高くすると他府県に宿泊されてしまうのではという心配がある
		大阪府民は減税してほしい
		日本人からは取らないでほしい
		必要性がわからない
		もう少し高くてもいい
		居住地などで課税額を変えてほしい
環境整備・美化	61	街や観光地の整備に使ってほしい
		街の美化の維持
		観光マナーの啓発やゴミ問題の対策を強化してほしい
		公園の整備
外国人観光客	57	外国人からもっと多く徴収してほしい
		外国人観光客向けに多言語でマナーを啓発してほしい
		オーバーツーリズムの抑制
使い道などの周知・情報発信	59	どのように使われているか知りたい
		使い道がよくわからない
		宿泊税を使った事業の成果を広報してほしい
		制度について色々な所で知らせてほしい
大阪、日本の発展・還元	54	大阪の安全や美化に使ってほしい
		地域の活性化のために使ってほしい
		府民に還元してほしい
		日本人向けにもっと活用してほしい
その他	135	観光インフラ整備
		トイレの数を増やしてほしい
		喫煙場所の数や案内を増やしてほしい
		ゴミ箱を増やしてほしい
		コインロッカーを増やしてほしい
		交通の利便性向上
		有効に使ってほしい

Ⅱ. 観光客調査

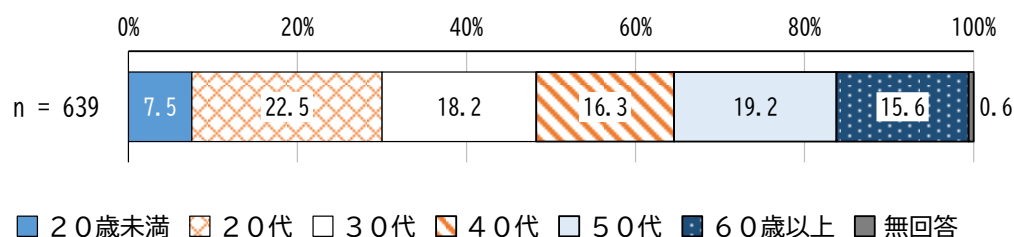
＜国内居住者＞

1. 基本情報

(1) 年齢

Q1. 年齢

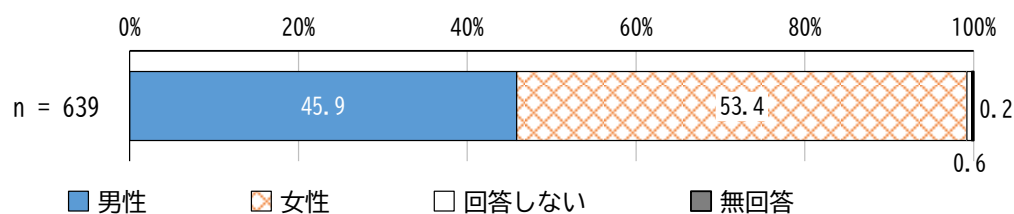
回答者の年齢は「20代」が22.5%で最も高く、次いで「50代」19.2%、「30代」18.2%が続いており、『30代以下』が48.2%、『40代以上』が51.2%とそれぞれ半数を占めている。



(2) 性別

Q2. 性別

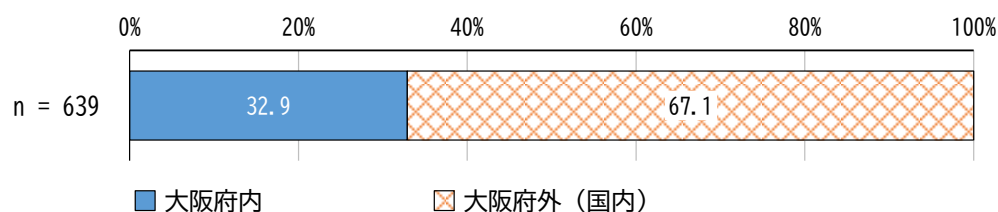
回答者の性別は「男性」が45.9%、「女性」53.4%となっている。



(3) 居住地

Q3. 居住地

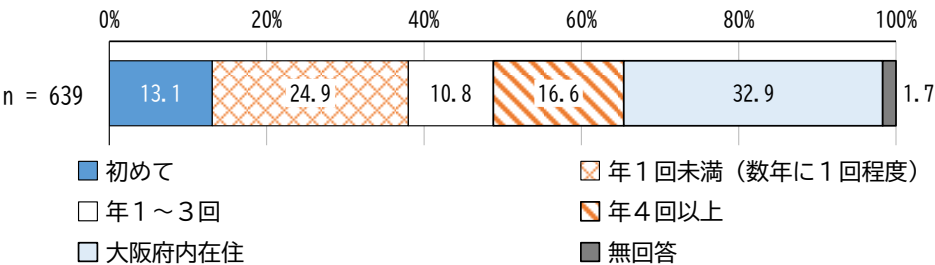
回答者の居住地は「大阪府内」が32.9%、「大阪府外（国内）」67.1%となっている。



(4) 訪問頻度

Q 4. 大阪府への訪問頻度

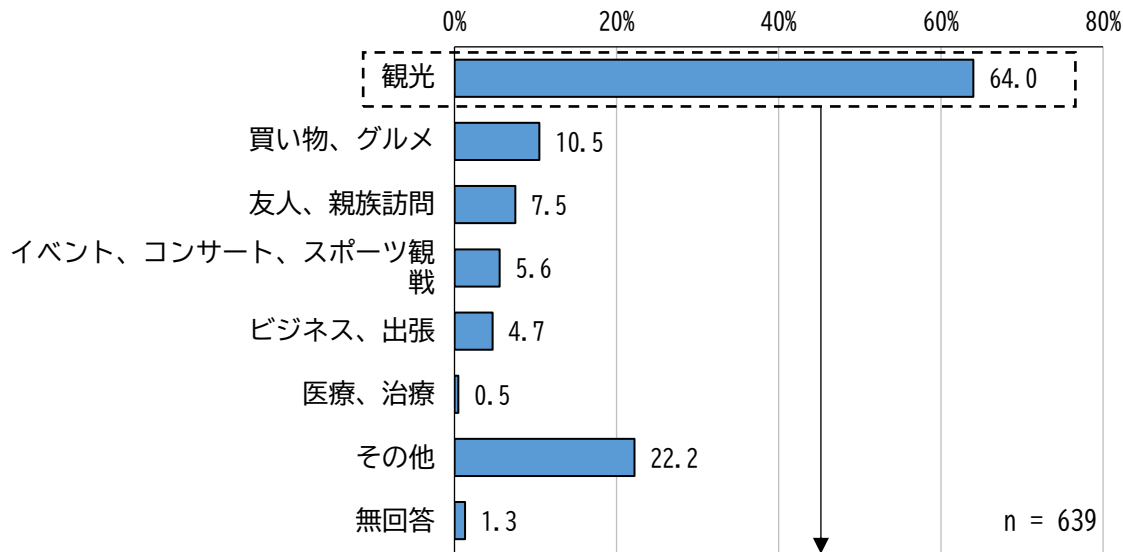
大阪への訪問頻度は「大阪府内在住」32.9%を除くと、「年1回未満(数年に1回程度)」が24.9%で最も高く、次いで「年4回以上」16.6%、「初めて」13.1%が続いている。



(5) 訪問目的

Q 5. 今回大阪へお越しになった主な目的をお聞かせください。(複数選択可)

大阪へ訪問目的は「観光」が64.0%で最も高く、次いで「買い物、グルメ」10.5%、「友人、親族訪問」7.5%が続いている。「観光」目的の方が訪問した観光スポットは、「大阪・関西万博」207件、「大阪城」107件などがみられた。



回答人数: 409

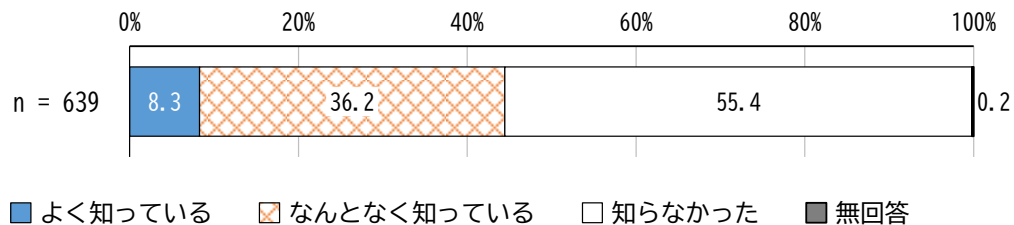
大阪で訪問した観光スポット	件数
大阪・関西万博	207
大阪城	107
ユニバーサルスタジオジャパン	49
難波	26
道頓堀	23
心斎橋	12
通天閣	12
梅田	10
寺社 (住吉大社、難波八坂神社など)	8
新世界	6
市場 (黒門・木津)	6
勝尾寺	5
梅田スカイビル	5
天王寺	3
その他	97
無回答	44

2. 宿泊税の認知度

(1) 「大阪府宿泊税」の認知

Q 6. 「大阪府宿泊税」について知っていますか？（1つ選択）

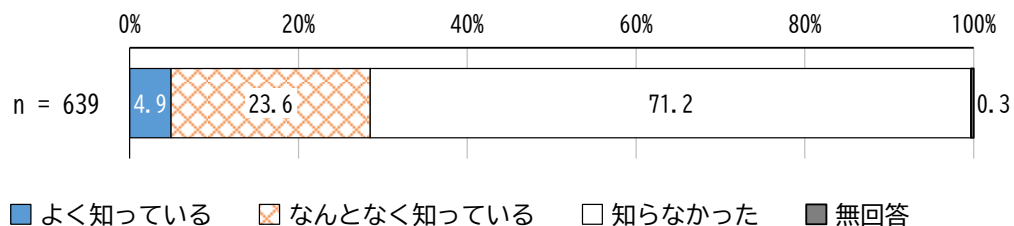
「大阪府宿泊税」の認知は「よく知っている」が8.3%で「なんとなく知っている」36.2%と合わせた『認知計』が44.5%、「知らなかった」55.4%となっている。



(2) 宿泊税の使い道の認知

Q 7. 宿泊税の使い道（観光振興・インフラ整備等）を知っていますか？（1つ選択）

宿泊税の使い道認知は「よく知っている」が4.9%で「なんとなく知っている」23.6%と合わせた『認知計』が28.5%、「知らなかった」71.2%となっている。

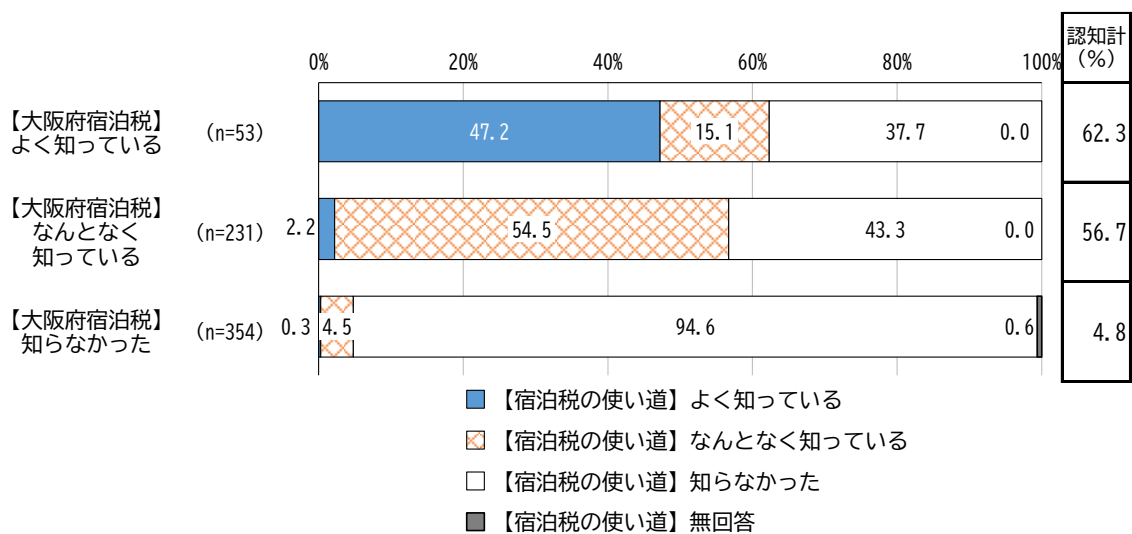


■ 認知度詳細

宿泊税の使い道の認知を「大阪府宿泊税」の認知別にみると、「大阪府宿泊税」を『よく知っている』とした層では宿泊税の使い道の認知も『よく知っている』が47.2%で最も高く、「なんとなく知っている」15.1%と合わせた『認知計』は62.3%となっている。

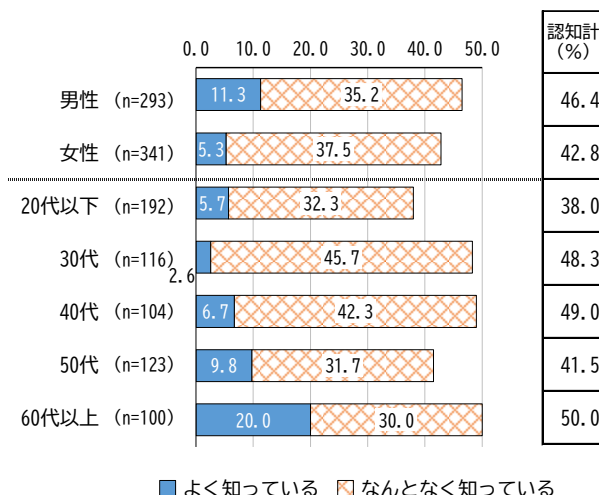
「大阪府宿泊税」の認知が高い層ほど宿泊税の使い道の認知も高く、「大阪府宿泊税」を『なんとなく知っている』とした層では「なんとなく知っている」が54.5%で『認知計』は56.7%、「大阪府宿泊税」を『知らなかった』とした層では宿泊税の使い道の認知も「知らなかった」が94.6%を占め、『認知計』は4.8%となっている。

宿泊税の使い道認知【「大阪府宿泊税」認知別】

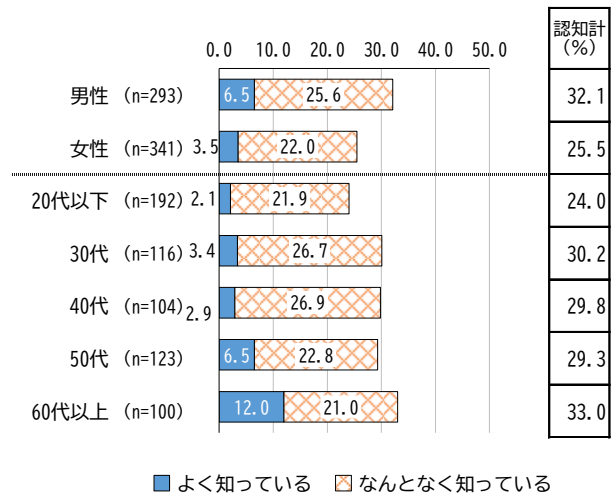


宿泊税の認知度を性別・年代別にみると、性別では「大阪府宿泊税」の認知、宿泊税の使い道の認知ともに『女性』に比べ『男性』で高くなっている。年代別でみると、『60代以上』で最も高く、「大阪府宿泊税」認知で50.0%、宿泊税の使い道の認知で33.0%となっている。「大阪府宿泊税」認知では『40代』『30代』が50%弱と僅差で続き、宿泊税の使い道の認知では『30代～50代』が30%前後で拮抗している。

「大阪府宿泊税」認知【性別・年代別】



宿泊税の使い道認知【性別・年代別】

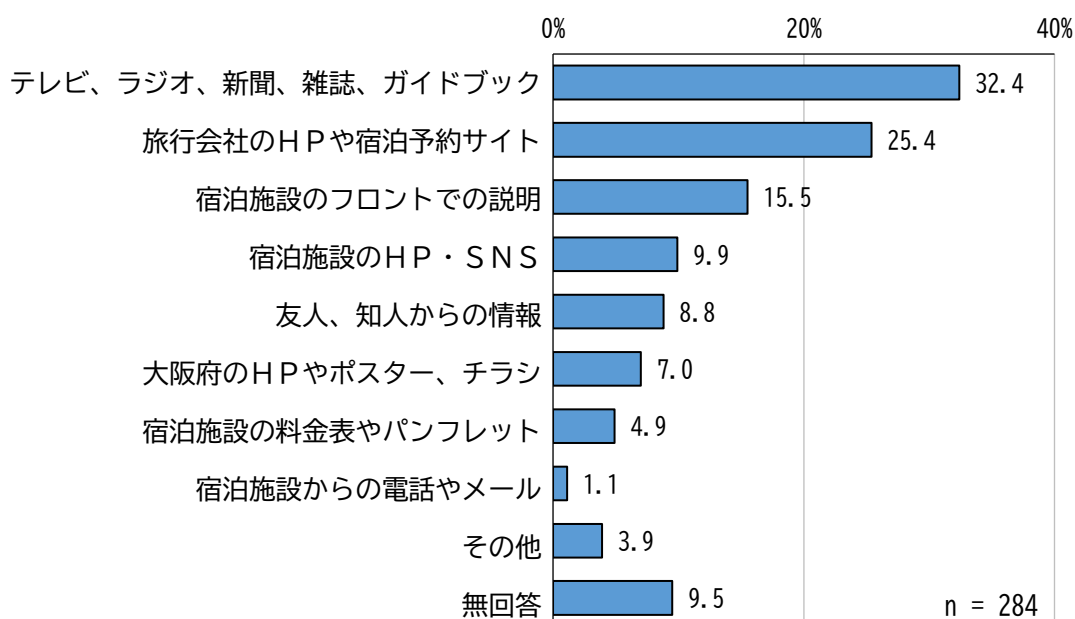


(3) 認知経路

Q 8. 宿泊税について知ったきっかけについて、当てはまるものはどれですか。(複数選択可)

※ Q 6で「大阪府宿泊税」を「よく知っている」または「なんとなく知っている」とした方

宿泊税の認知経路は「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、ガイドブック」が 32.4%で最も高く、次いで「旅行会社のHPや宿泊予約サイト」25.4%、「宿泊施設のフロントでの説明」15.5%が続いている。



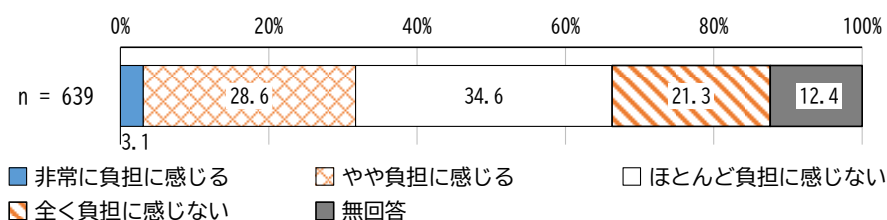
3. 宿泊税の満足度

(1) 宿泊税額の負担感

Q 9. 宿泊税は、大阪が世界有数の国際都市として発展していくことをめざし、都市の魅力を高めるとともに、観光の振興を図ることを目的に宿泊税を導入しました。

大阪府の宿泊税（1人1泊200～500円）について、負担感を感じますか？（1つ選択）

宿泊税額の負担感は「ほとんど負担に感じない」が 34.6%で最も高く、「全く負担に感じない」21.3%と合わせた『負担に感じない計』が 55.9%となっている。一方、「やや負担に感じる」28.6%と「非常に負担に感じる」3.1%を合わせた『負担を感じる計』は 31.7%となっている。



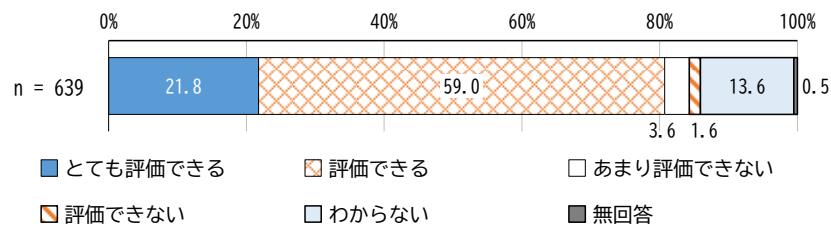
(2) 取組評価

Q10. 大阪府では宿泊税を活用して、旅行者の受入環境の整備や大阪の魅力向上・国内外へのプロモーションの推進に取り組んでいます。

それぞれの取組について、当てはまるものに○をつけてください。（1つ選択）

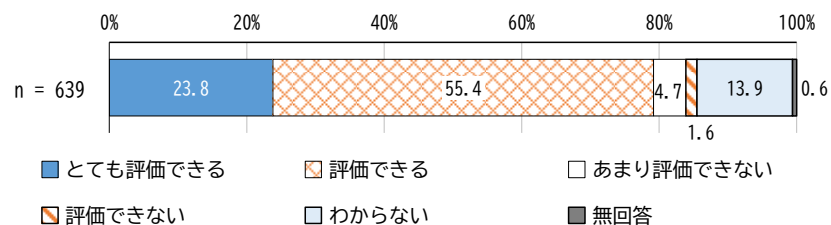
宿泊税を利用した取組の評価は、『①観光客と地域住民相互の目線に立った受入環境整備の推進』については「評価できる」が59.0%で最も高く、「とても評価できる」21.8%と合わせた『評価できる計』が80.8%となっている。一方、「あまり評価できない」3.6%と「評価できない」1.6%を合わせた『評価できない計』は5.2%となっている。

① 観光客と地域住民相互の目線に立った受入環境整備の推進



『②魅力づくり及び戦略的なマーケティング、プロモーションの推進』については「評価できる」が55.4%で最も高く、「とても評価できる」23.8%と合わせた『評価できる計』が79.2%となっている。一方、「あまり評価できない」4.7%と「評価できない」1.6%を合わせた『評価できない計』は6.3%となっている。

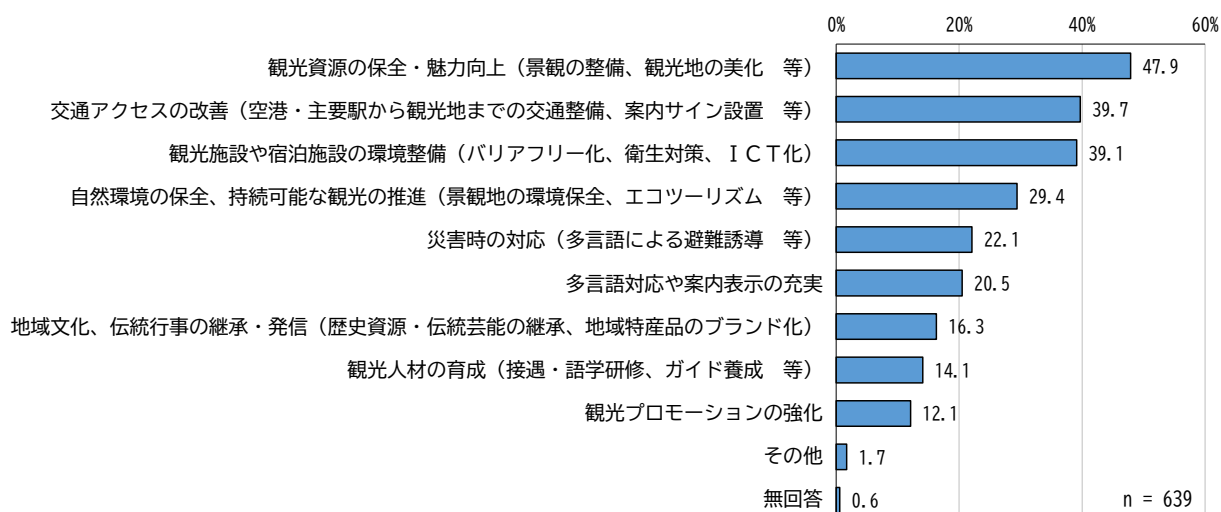
② 魅力づくり及び戦略的なマーケティング、プロモーションの推進



(3) 活用希望分野

Q11. 宿泊税の使い道として、優先的に活用してほしい分野は何ですか？（複数選択可）

宿泊税の活用を希望する分野は「観光資源の保全・魅力向上（景観の整備、観光地の美化 等）」が 47.9%で最も高く、次いで「交通アクセスの改善（空港・主要駅から観光地までの交通整備、案内サイン設置 等）」39.7%、「観光施設や宿泊施設的环境整備（バリアフリー化、衛生対策、ICT化）」39.1%、「自然環境の保全、持続可能な観光の推進（景観地の環境保全、エコツーリズム 等）」29.4%が続いている。

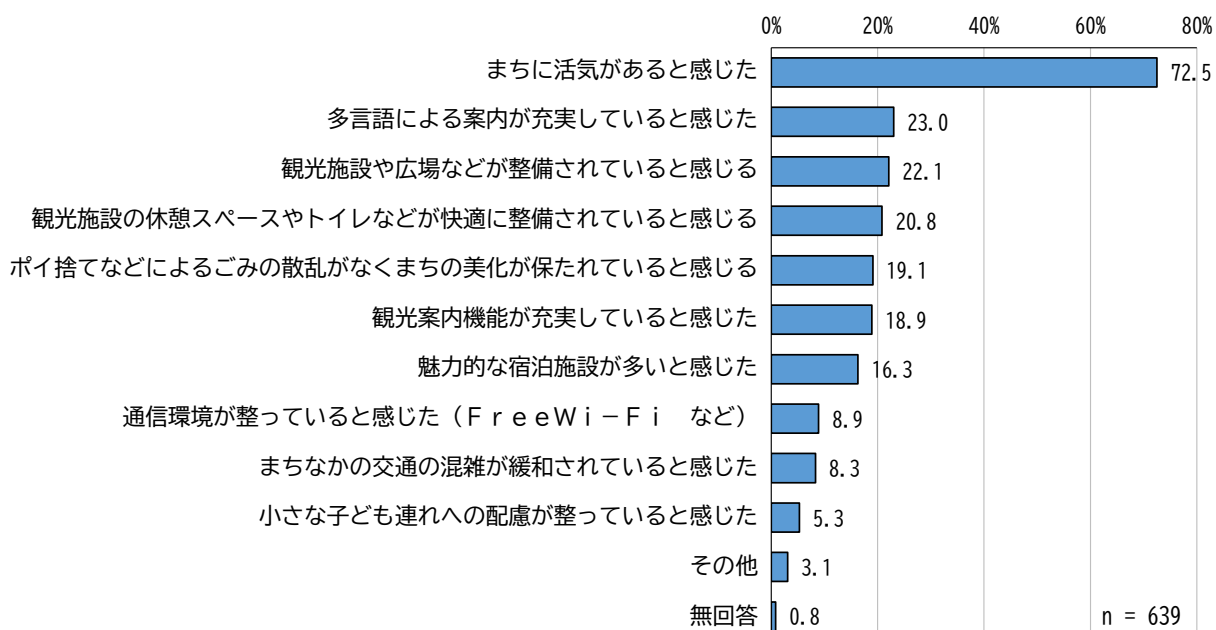


4. その他

(1) 大阪の評価

Q12. 大阪の街について、実際に訪れてどのように感じましたか。（複数選択可）

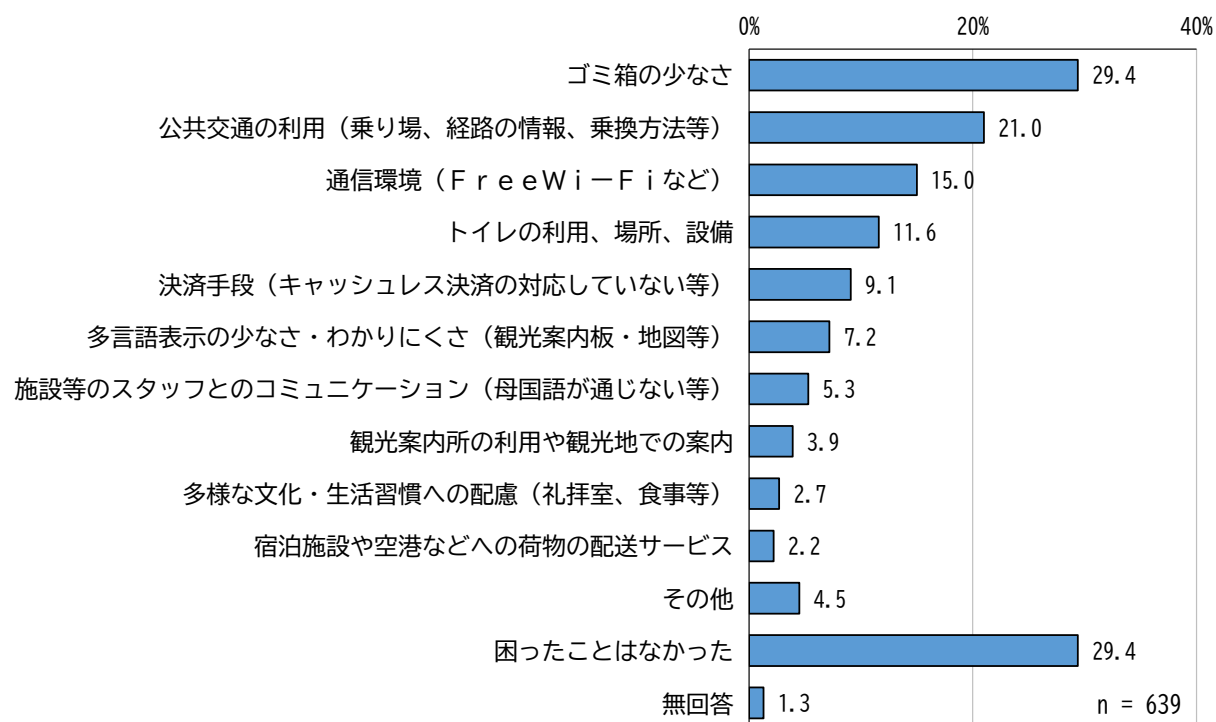
大阪の評価は「まちに活気があると感じた」が 72.5%で突出して高く、「多言語による案内が充実していると感じた」23.0%、「観光施設や広場などが整備されていると感じる」22.1%、「観光施設の休憩スペースやトイレなどが快適に整備されていると感じる」20.8%が2割台が続いている。



(2) 大阪での困りごと

Q13. 今回の旅行中に困ったことについて教えてください。(複数選択可)

旅行中の困りごとは「ゴミ箱の少なさ」が 29.4%で最も高く、次いで「公共交通の利用（乗り場、経路の情報、乗換方法等）」21.0%、「通信環境（FreeWi-Fiなど）」15.0%、「トイレの利用、場所、設備」11.6%が続いており、「困ったことはなかった」は 29.4%となっている。



(3) 大阪府宿泊税活用事業への要望

Q14. 現在大阪府で取り組んでいる宿泊税を活用した事業で知っている事業や、今後取り組んで欲しいことについて、ご意見をお聞かせください。

大阪府宿泊税事業への要望等は、138 人から 143 件のご意見をいただき、主な内容は以下の通り。

内容	件数	代表的な意見（抜粋）
公衆衛生（ゴミ・トイレなど）	28	ゴミ箱を増やしてほしい
		トイレの数を増やして欲しい
交通・インフラ	25	案内表示の整備
		交通機関の整備、案内
		道案内図の増設
外国人・言語対応	20	外国人観光客の分散策
		多言語による案内
		外国人観光客のマナー改善、日本の治安維持
環境整備・美化	16	街の美化
		駅などの休憩スペースを増やす
その他	54	オーバーツーリズム対策
		イルミネーションは観光客の誘致に役立っていると思う
		子ども連れや高齢者、障がい者対応の充実
		宿泊手続きの際にわかりやすく説明してほしい

(4) 宿泊税に関するご意見

Q15. その他、宿泊税について、ご意見があればご記入ください。

宿泊税に関するご意見は、72 人から 73 件のご意見をいただき、主な内容は以下の通り。

内容	件数	代表的な意見（抜粋）
インフラ整備	15	ロッカーを増やしてほしい
		観光スポットをきれいに保つための清掃などに使ってほしい
		街の整備に役立ててほしい
		案内をわかりやすくしてほしい
使い道などの周知・情報発信	12	広報（PR）がもっと欲しい
		大阪府民以外の人にも周知してほしい
		使い道を明確にしてほしい
		ホテル宿泊時にしっかり案内した方が良い
宿泊税制度	15	適度な金額だと思う
		思ったより安く、もっと高くても良いと思う
		金額は安くしてほしい
		外国人と日本人で宿泊税額を変えてほしい
その他	31	特色あるイベントの開催や広報活動を強化
		多すぎる観光客と府民との共存
		Wi-Fi環境の整備

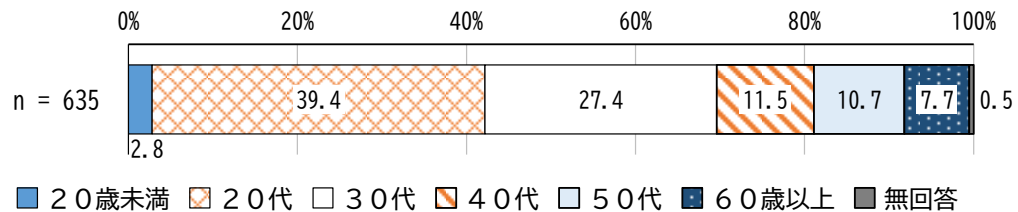
＜海外居住者＞

1. 基本情報

(1) 年齢

Q1. 年齢

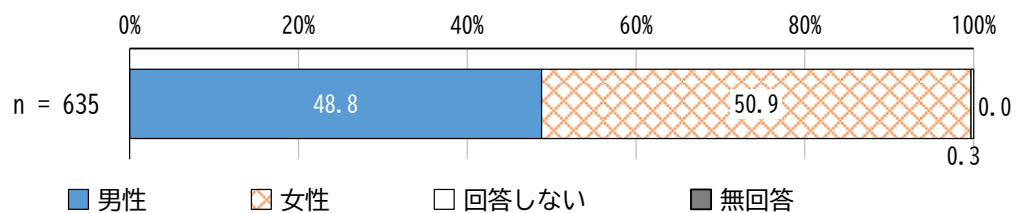
回答者の年齢は「20代」が39.4%で最も高く、次いで「30代」27.4%、「40代」11.5%が続いており、『30代以下』が69.6%と約7割を占めている。



(2) 性別

Q2. 性別

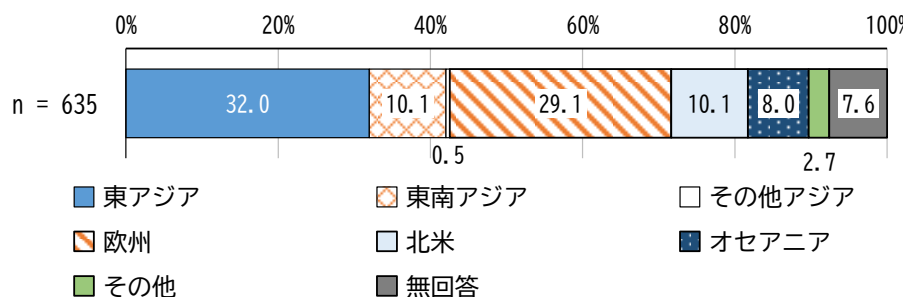
回答者の性別は「男性」が48.8%、「女性」が50.9%となっている。



(3) 居住地

Q3. 居住地

回答者の居住地は「東アジア」が32.0%で最も高く、次いで「欧州」29.1%、「北米」「東南アジア」10.1%が続いている。居住国でみると、「中国」108件、「台湾」54件、「オーストラリア」48件、「ドイツ」42件などが上位である。



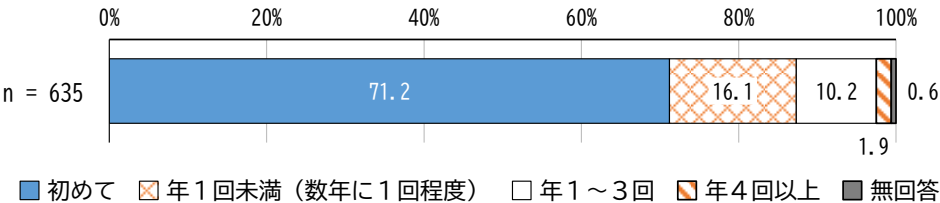
回答人数： 635

居住国（上位10位）	件数
中国	108
台湾	54
オーストラリア	48
ドイツ	42
アメリカ	36
韓国	32
カナダ	28
フィリピン	27
フランス	27
イギリス	25

(4) 訪問頻度

Q 4. 大阪府への訪問頻度

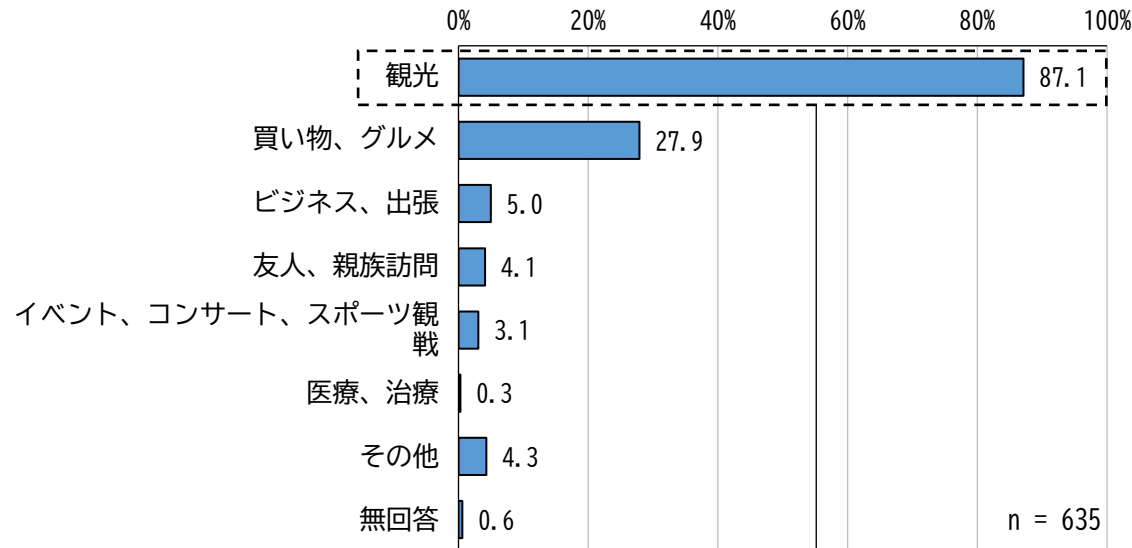
大阪への訪問頻度は「初めて」が 71.2%で最も高く、次いで「年1回未満（数年に1回程度）」16.1%、「年1～3回」10.2%、「年4回以上」1.9%となっており、『リピーター計』は 28.2%。



(5) 訪問目的

Q 5. 今回大阪へお越しになった主な目的をお聞かせください。（複数選択可）

大阪へ訪問目的は「観光」が 87.1%で突出して高く、「買い物、グルメ」27.9%が続いている。目的の方が訪問した観光スポットは、「大阪城」257 件、「道頓堀」118 件などがみられた。



回答人数： 553

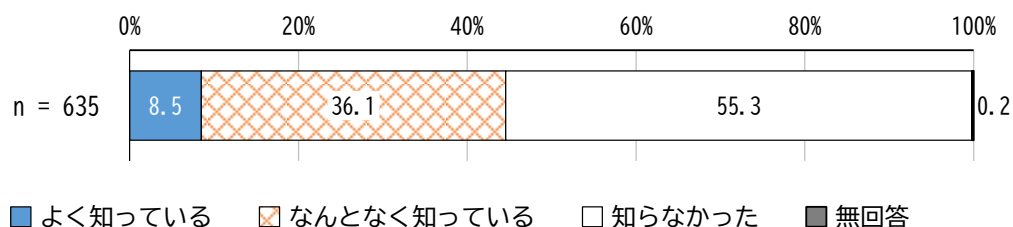
大阪で訪問した観光スポット	件数
大阪城	257
道頓堀	118
ユニバーサルスタジオジャパン	86
大阪・関西万博	74
心斎橋	44
難波	34
通天閣	24
寺社（住吉大社、難波八坂神社など）	23
梅田スカイビル	17
勝尾寺	14
梅田	13
新世界	9
天王寺	9
市場（黒門・木津）	9
その他	80
無回答	119

2. 宿泊税の認知度

(1) 「大阪府宿泊税」の認知

Q 6. 「大阪府宿泊税」について知っていますか？（1つ選択）

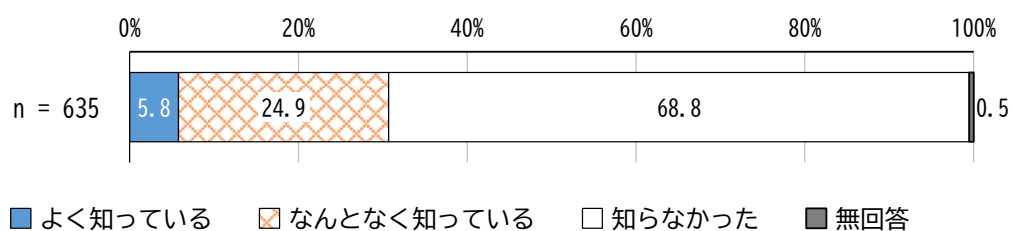
「大阪府宿泊税」の認知は「よく知っている」が8.5%で「なんとなく知っている」36.1%と合わせた『認知計』が44.6%、「知らなかった」55.3%となっている。



(2) 宿泊税の使い道の認知

Q 7. 宿泊税の使い道（観光振興・インフラ整備等）を知っていますか？（1つ選択）

宿泊税の使い道認知は「よく知っている」が5.8%で「なんとなく知っている」24.9%と合わせた『認知計』が30.7%、「知らなかった」68.8%となっている。

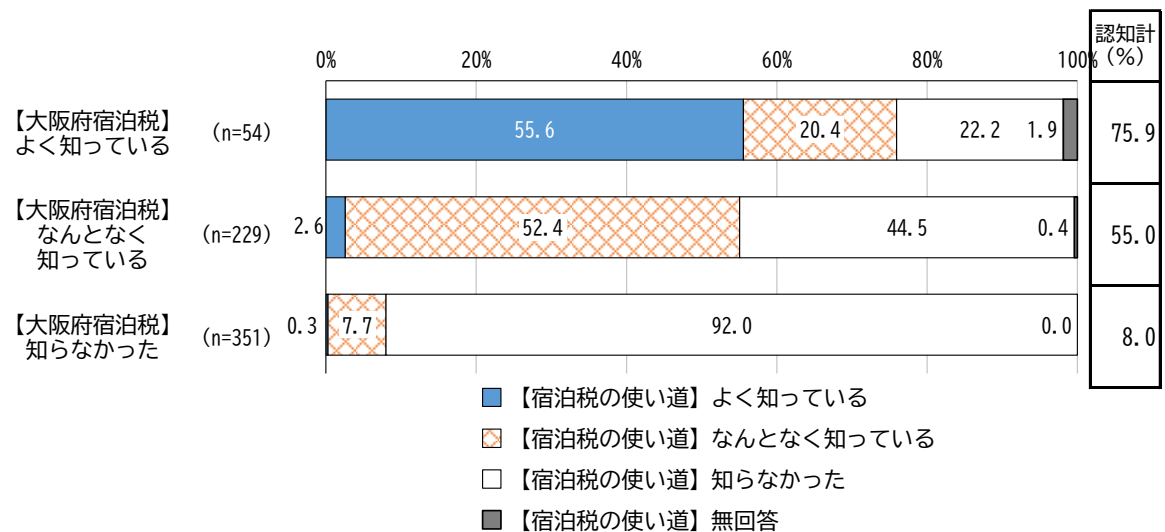


■ 認知度詳細

宿泊税の使い道の認知を「大阪府宿泊税」の認知別にみると、「大阪府宿泊税」を『よく知っている』とした層では宿泊税の使い道の認知も「よく知っている」が55.6%で最も高く、「なんとなく知っている」20.4%と合わせた『認知計』が75.9%となっている。

「大阪府宿泊税」の認知が高い層ほど宿泊税の使い道の認知も高く、「大阪府宿泊税」を『なんとなく知っている』とした層では『認知計』が55.0%、「大阪府宿泊税」を『知らなかった』とした層では宿泊税の使い道の認知も「知らなかった」が92.0%を占め、『認知計』は8.0%にとどまっている。

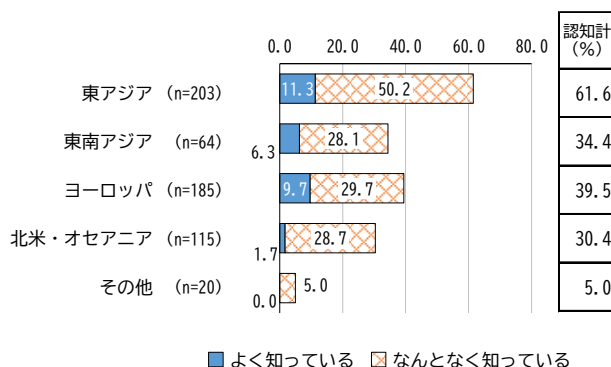
宿泊税の使い道認知【「大阪府宿泊税」認知別】



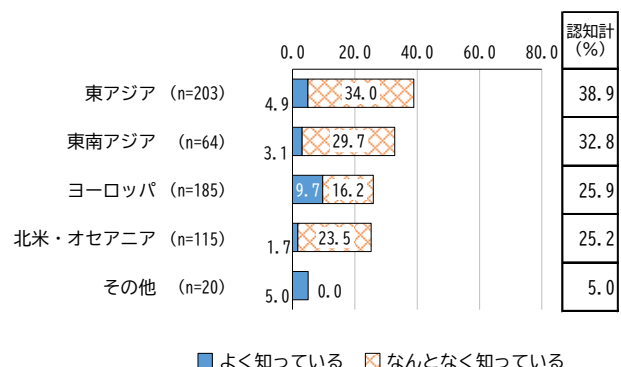
宿泊税の認知度を居住地域別にみると、「大阪府宿泊税」の認知、宿泊税の使い道の認知ともに『東アジア』で最も高く、「大阪府宿泊税」の認知で61.6%、宿泊税の使い道の認知で38.9%となっている。「大阪府宿泊税」の認知では『ヨーロッパ』が39.5%、宿泊税の使い道の認知では『東南アジア』が32.8%で続いている。

「よく知っている」のスコアでみると、「大阪府宿泊税」の認知は認知計と同様に『東アジア』11.3%、『ヨーロッパ』9.7%の順で高いが、宿泊税の使い道の認知では『ヨーロッパ』が9.7%で最も高くなっている。

「大阪府宿泊税」認知【居住地域別】



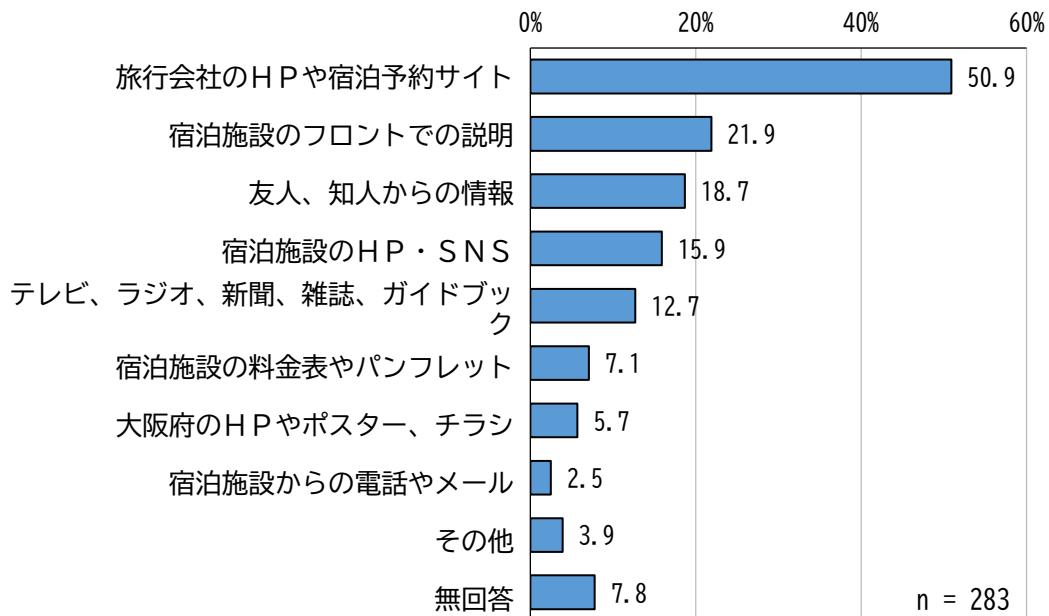
宿泊税の使い道認知【居住地域別】



(3) 認知経路

Q 8. 宿泊税について知ったきっかけについて、当てはまるものはどれですか。(複数選択可)
※ Q 6で「大阪府宿泊税」を「よく知っている」または「なんとなく知っている」とした方

宿泊税の認知経路は「旅行会社のHPや宿泊予約サイト」が 50.9%で最も高く、次いで「宿泊施設のフロントでの説明」21.9%、「友人、知人からの情報」18.7%、「宿泊施設のHP・SNS」15.9%が続いている。

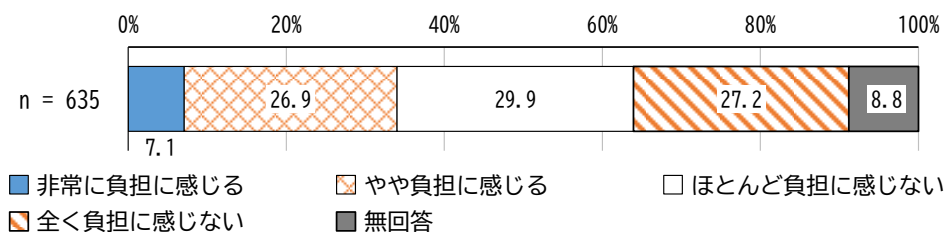


3. 宿泊税の満足度

(1) 宿泊税額の負担感

Q 9. 宿泊税は、大阪が世界有数の国際都市として発展していくことをめざし、都市の魅力を高めるとともに、観光の振興を図ることを目的に宿泊税を導入しました。
大阪府の宿泊税（1人1泊200～500円）について、負担を感じますか？（1つ選択）

宿泊税額の負担感は「ほとんど負担に感じない」が 29.9%で最も高く、「全く負担に感じない」27.2%と合わせた『負担に感じない計』が 57.2%となっている。一方、「やや負担に感じる」26.9%と「非常に負担に感じる」7.1%を合わせた『負担を感じる計』は 34%となっている。



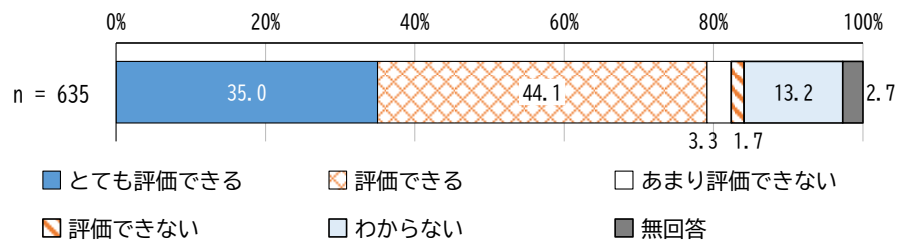
(2) 取組評価

Q10. 大阪府では宿泊税を活用して、旅行者の受入環境の整備や大阪の魅力向上・国内外へのプロモーションの推進に取り組んでいます。

それぞれの取組について、当てはまるものに○をつけてください。（1つ選択）

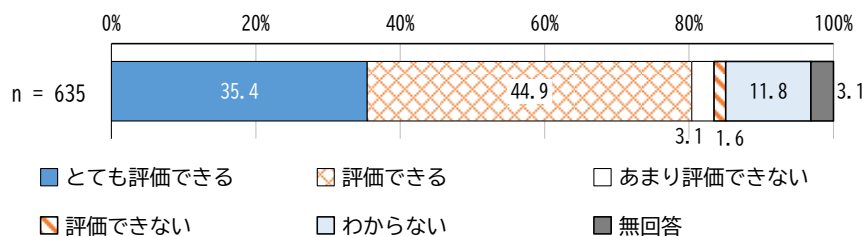
宿泊税を利用した取組の評価は、『①観光客と地域住民相互の目線に立った受入環境整備の推進』については「評価できる」が44.1%で最も高く、「とても評価できる」35.0%と合わせた『評価できる計』が79.1%となっている。一方、「あまり評価できない」3.3%と「評価できない」1.7%を合わせた『評価できない計』は5.0%となっている。

① 観光客と地域住民相互の目線に立った受入環境整備の推進



『②魅力づくり及び戦略的なマーケティング、プロモーションの推進』については「評価できる」が44.9%で最も高く、「とても評価できる」35.4%と合わせた『評価できる計』が80.3%となっている。一方、「あまり評価できない」3.1%と「評価できない」1.6%を合わせた『評価できない計』は4.7%となっている。

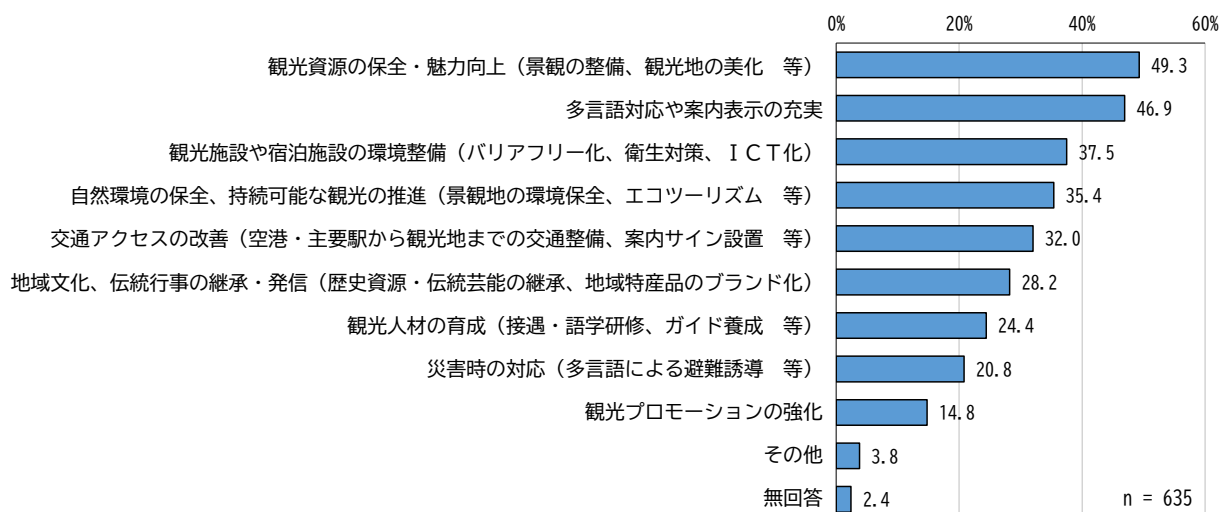
② 魅力づくり及び戦略的なマーケティング、プロモーションの推進



(3) 活用希望分野

Q11. 宿泊税の使い道として、優先的に活用してほしい分野は何ですか？（複数選択可）

宿泊税の活用を希望する分野は「観光資源の保全・魅力向上（景観の整備、観光地の美化 等）」が49.3%で最も高く、次いで「多言語対応や案内表示の充実」46.9%、「観光施設や宿泊施設の環境整備（バリアフリー化、衛生対策、ICT化）」37.5%、「自然環境の保全、持続可能な観光の推進（景観地の環境保全、エコツーリズム 等）」35.4%が続いている。

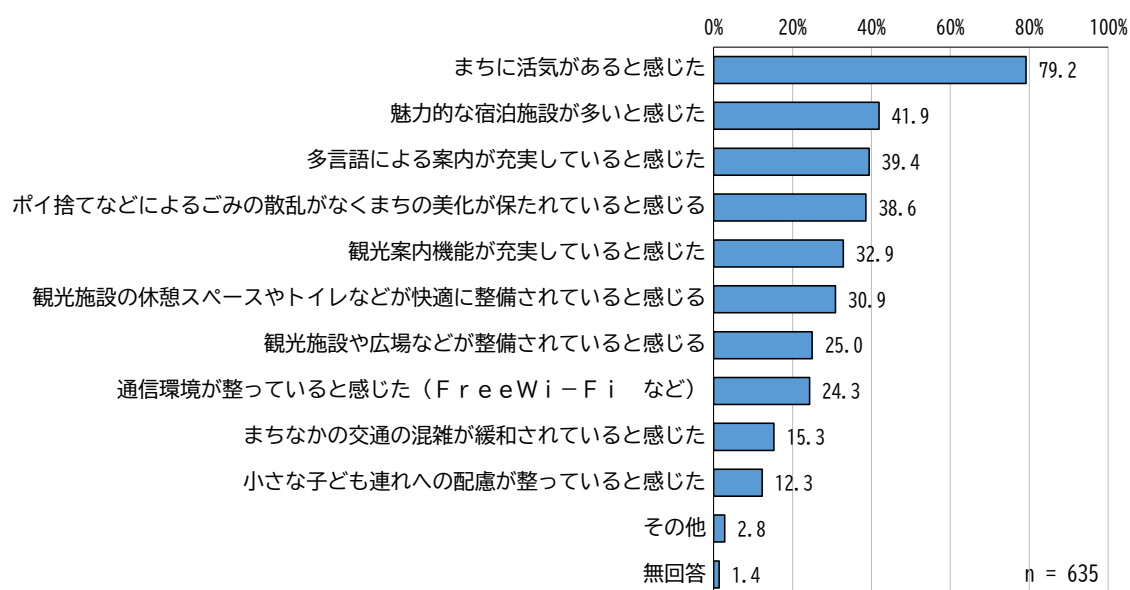


4. その他

(1) 大阪の評価

Q12. 大阪の街について、実際に訪れてどのように感じましたか。（複数選択可）

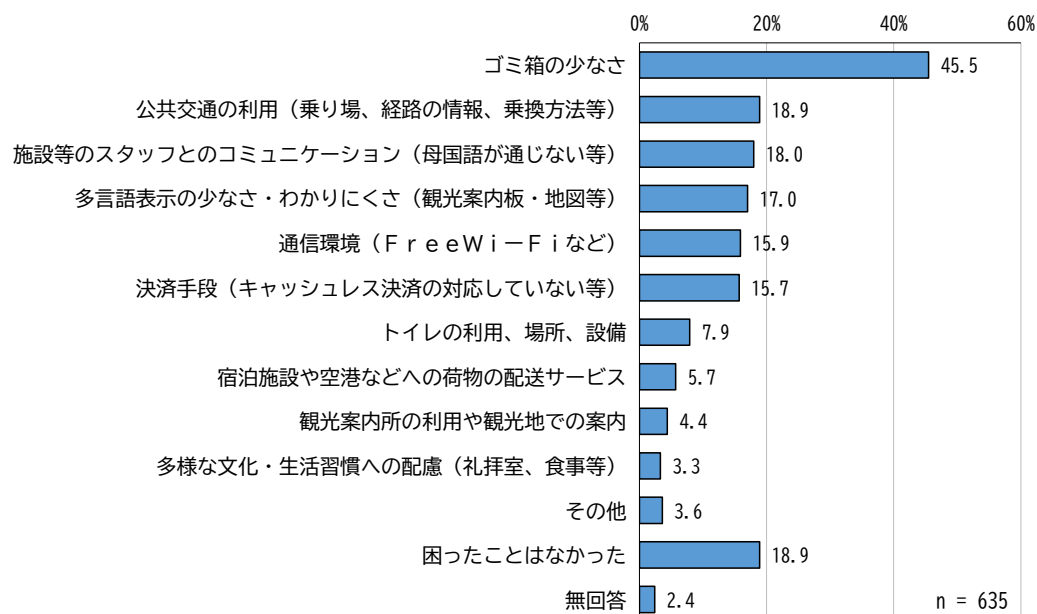
大阪の評価は「まちに活気があると感じた」が79.2%で突出して高く、次いで「魅力的な宿泊施設が多いと感じた」41.9%、「多言語による案内が充実していると感じた」39.4%、「ポイ捨てなどによるごみの散乱がなくまちの美化が保たれていると感じる」38.6%が続いている。



(2) 大阪での困りごと

Q13. 今回の旅行中に困ったことについて教えてください。(複数選択可)

旅行中の困りごとは「ゴミ箱の少なさ」が 45.5%で最も高く、次いで「公共交通の利用（乗り場、経路の情報、乗換方法等）」18.9%、「施設等のスタッフとのコミュニケーション（母国語が通じない等）」18.0%、「多言語表示の少なさ・わかりにくさ（観光案内板・地図等）」17.0%が続いており、「困ったことはなかった」は 18.9%となっている。



(3) 大阪府宿泊税活用事業への要望

Q14. 現在大阪府で取り組んでいる宿泊税を活用した事業で知っている事業や、今後取り組んで欲しいことについて、ご意見をお聞かせください。

大阪府宿泊税活用事業への要望等は、146 人から 153 件のご意見をいただき、主な内容は以下の通り。

内容	件数	代表的な意見（抜粋）
公衆衛生 (ゴミ・トイレなど)	26	ゴミ箱を増やす
		トイレや休憩所を増やす
		道頓堀など繁華地域にベンチやゴミ箱を多く設置してほしい
交通・インフラ	15	交通の仕組みが複雑なのでわかりやすい案内がほしい
		地下鉄の案内表示を増やしてほしい
		車いすや高齢者のためのアクセス改善
		エレベーターを増やしてほしい
環境整備・美化	12	サステナビリティと緑化の推進
		文化遺産の保護や保存活動
		自然環境の保全
宿泊税制度	13	宿泊料金が高く、部屋が狭い
		宿泊税は観光客に直接の利益はなくても、大阪の発展や快適さにつながるため賛成
		宿泊税の制度や事業について知らなかった
その他	87	観光や生活環境が向上する良い取り組みで賛成
		公共のWiFiのアクセスを増やしてほしい
		電子決済を導入し、キャッシュレス化を進めてほしい
		多言語環境や標識の整備

(4) 宿泊税に関するご意見

Q15. その他、宿泊税について、ご意見があればご記入ください。

その他、宿泊税に関するご意見は、46 人から 49 件のご意見をいただき、主な内容は以下の通り。

内容	件数	代表的な意見（抜粋）
宿泊税制度	9	宿泊税が高い、安くしてほしい
		他の国に比べて安いので特に意見はない
インフラ整備	9	ゴミ箱の増設
		ベンチの増設
		基本的な環境保護
		駅の表示整備、地面の動線表示など
使い道などの周知・情報発信	6	宿泊税の情報をもっと手に入れやすくする
		広報・啓発の方法が少ない
		空港でPRをしてほしい
その他	25	もっと英語で情報がほしい
		多言語による交通案内を増やしてほしい
		観光PR活動
		Wi-Fi環境の整備
		ホテルなど宿泊環境の整備

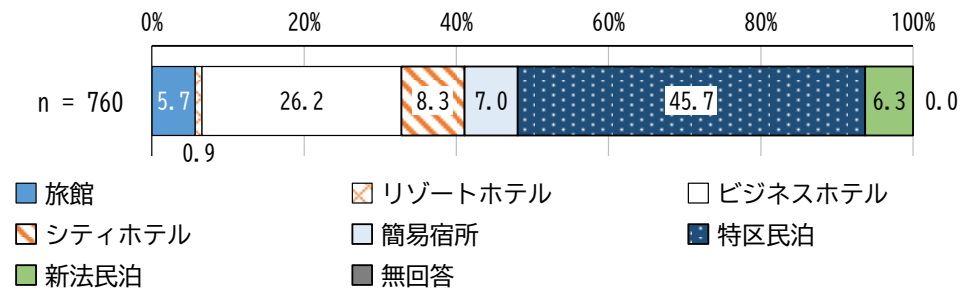
Ⅲ. 宿泊事業者調査

1. 基本情報

(1) 施設種別

Q 1. 施設の種別

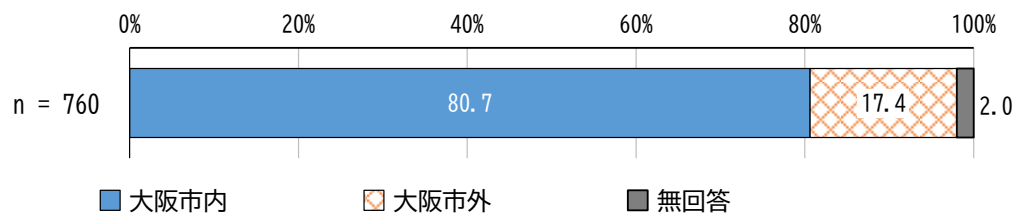
回答施設の施設種別は「特区民泊」が 45.7%で最も高く、「ビジネスホテル」26.2%、「シティホテル」8.3%、「簡易宿所」7.0%、「新法民泊」6.3%、「旅館」5.7%となっている。



(2) 所在地

Q 2. 施設の所在地

施設の所在地は「大阪市内」が 80.7%、「大阪市外」17.4%となっている。



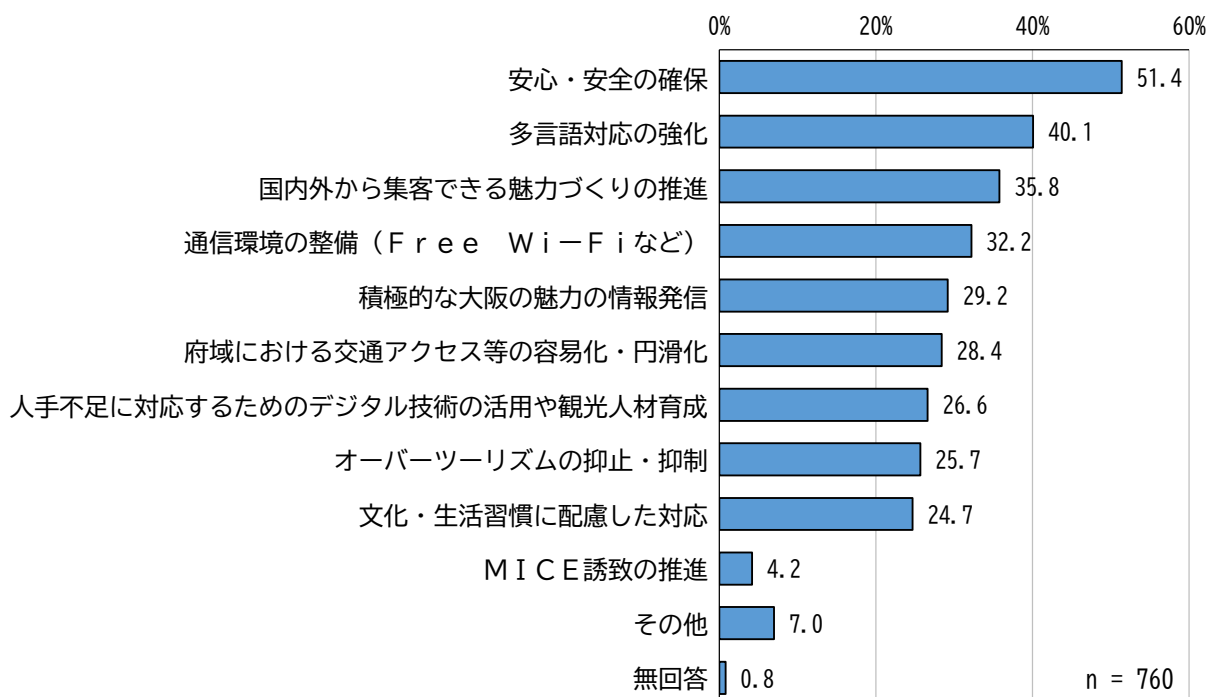
2. 宿泊税の使い道など

(1) 活用希望分野

Q3. 宿泊税は、大阪が世界有数の国際都市として発展していくことをめざし、都市の魅力を高めるとともに、観光振興を図ることを目的に宿泊税を導入しました。

徴収した宿泊税は、どのように使われるのが望ましいと思いますか。(複数選択可)

宿泊税の活用を希望する分野は「安心・安全の確保」が51.4%で最も高く、次いで「多言語対応の強化」40.1%、「国内外から集客できる魅力づくりの推進」35.8%、「通信環境の整備（Free Wi-Fiなど）」32.2%が続いている。



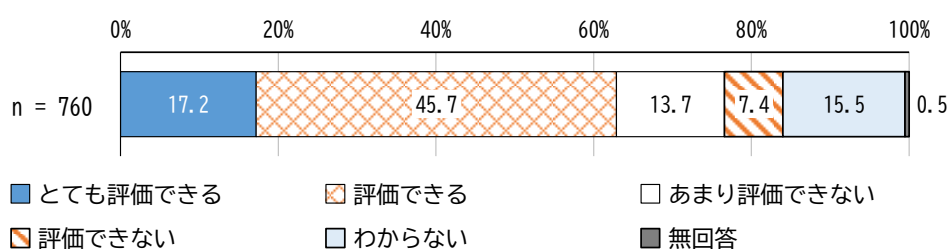
(2) 取組評価

Q4. 大阪府では宿泊税を活用して、旅行者の受入環境の整備や大阪の魅力向上・国内外へのプロモーションの推進に取り組んでいます。

それぞれの取組について、当てはまるものに○をつけてください。(それぞれ1つずつ選択)

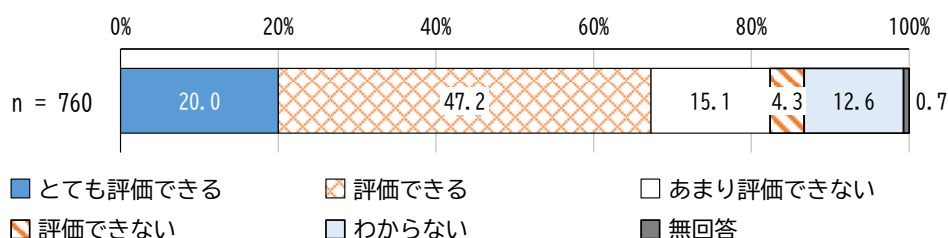
宿泊税を利用した取組の評価は、『①観光客と地域住民相互の目線に立った受入環境整備の推進』については「評価できる」が45.7%で最も高く、「とても評価できる」17.2%と合わせた『評価できる計』が62.9%となっている。一方、「あまり評価できない」13.7%と「評価できない」7.4%を合わせた『評価できない計』は21.1%となっている。

① 観光客と地域住民相互の目線に立った受入環境整備の推進



『②魅力づくり及び戦略的なマーケティング、プロモーションの推進』については「評価できる」が47.2%で最も高く、「とても評価できる」20.0%と合わせた『評価できる計』が67.2%となっている。一方、「あまり評価できない」15.1%と「評価できない」4.3%を合わせた『評価できない計』は19.4%となっている。

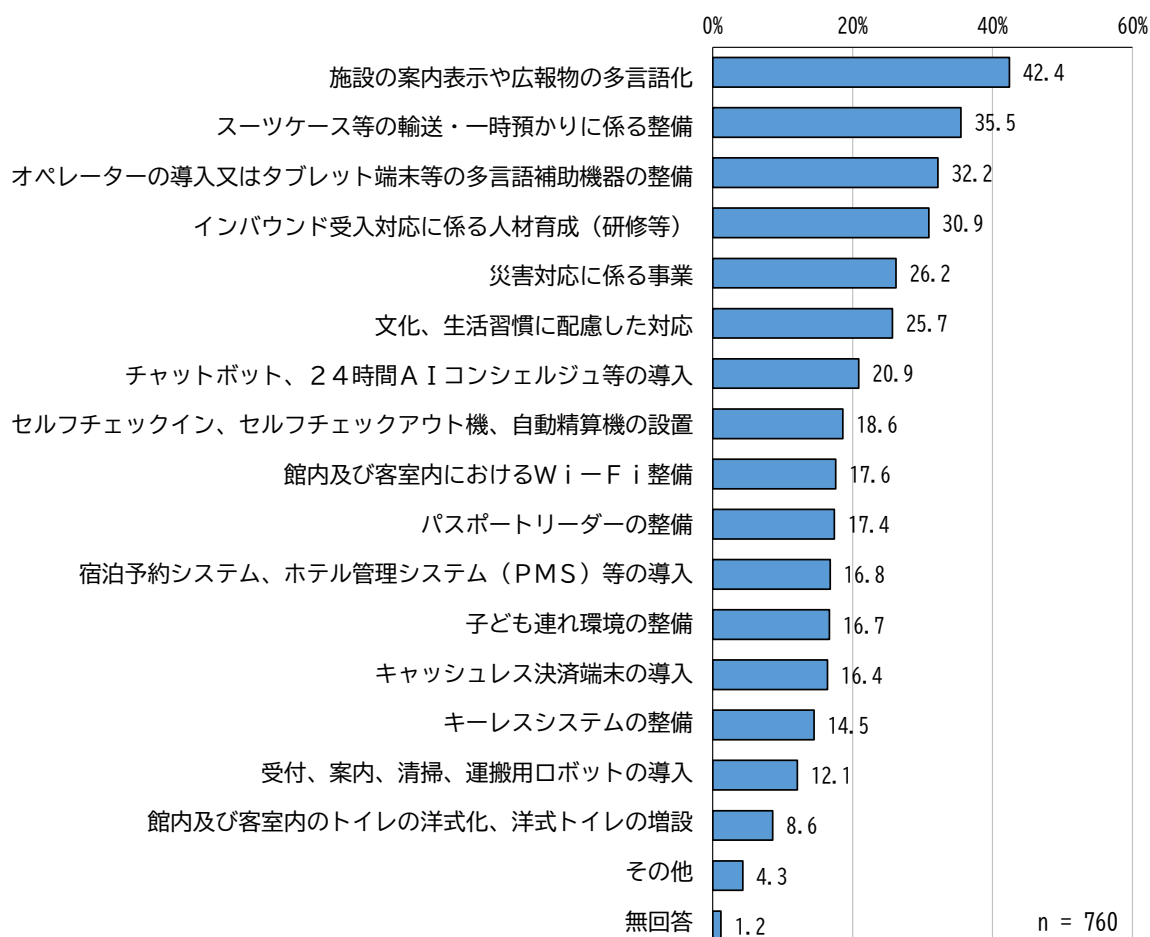
② 魅力づくり及び戦略的なマーケティング、プロモーションの推進



(3) 必要な取組

Q5. 宿泊施設における「おもてなし環境整備」のために、今後どのような取組が必要だとお考えですか。(複数選択可)

「おもてなし環境整備」のために必要な取り組みは「施設の案内表示や広報物の多言語化」が42.4%で最も高く、次いで「スーツケース等の輸送・一時預かりに係る整備」35.5%、「オペレーターの導入又はタブレット端末等の多言語補助機器の整備」32.2%、「インバウンド受入対応に係る人材育成（研修等）」30.9%が続いている。

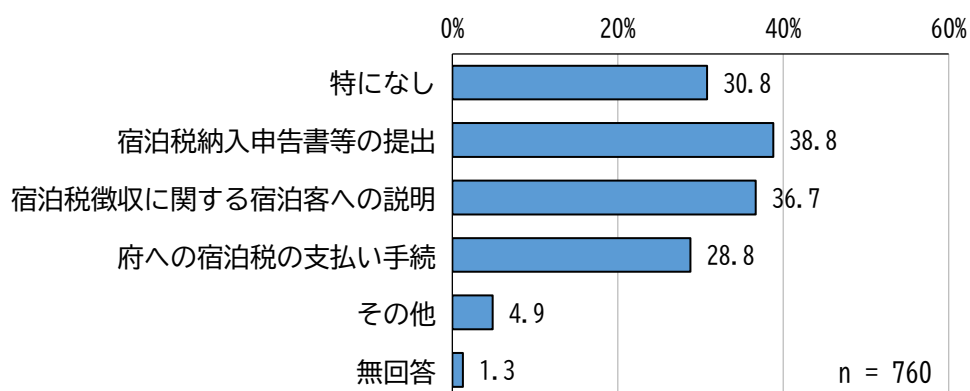


3. 宿泊税の徴収事務

(1) 宿泊税徴収事務の困りごと

Q 6. 貴施設において苦労していることについて、当てはまるものに○をつけてください。(複数選択可)

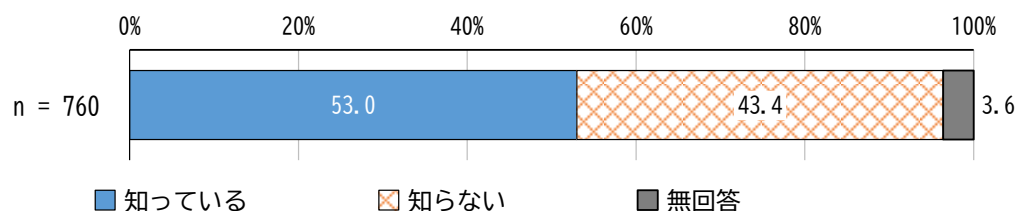
宿泊税の徴収事務における困りごとは「宿泊税納入申告書等の提出」が 38.8%で最も高く、次いで「宿泊税徴収に関する宿泊客への説明」36.7%、「府への宿泊税の支払い手続」28.8%となっており、「特になし」は 30.8%。



(2) 電子申告、納入の認知

Q 7. eLTAX(エルタックス)を利用した電子申告、納入ができることをご存知ですか。(1つ選択)

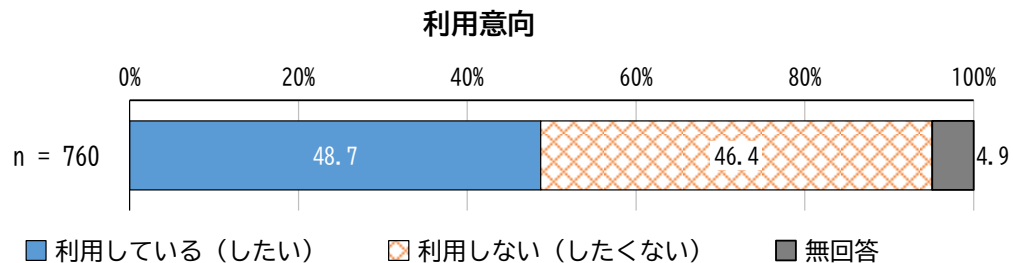
電子申告、納入の認知は「知っている」が 53.0%、「知らない」が 43.4%となっている。



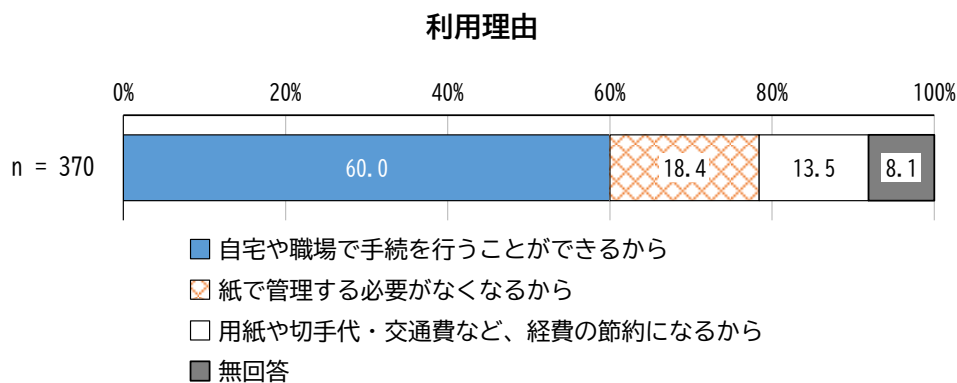
(3) 電子申告、納入の利用・非利用理由

Q 8. 電子申告、納入を利用している又は利用しない理由は何ですか。Q 7 で初めて電子申告、納入のことを知った方は、今後、利用したい又は利用したくない理由をお答えください。(1 つ選択)

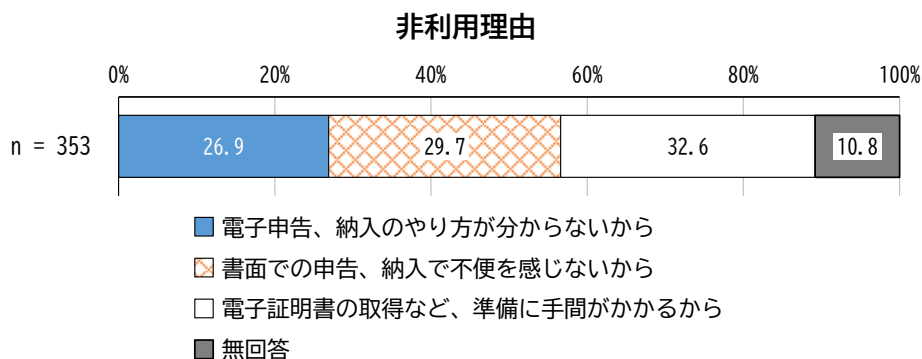
電子申告、納入の利用状況は、「利用している(したい)」が 48.7%、「利用しない(したくない)」が 46.4%となっている。



利用している(したい)理由は「自宅や職場で手続きを行うことができるから」が 60.0%で最も高く、次いで「紙で管理する必要がなくなるから」18.4%、「用紙や切手代・交通費など、経費の節約になるから」13.5%となっている。



利用しない(したくない)理由は「電子証明書の取得など、準備に手間がかかるから」が 32.6%で最も高く、次いで「書面での申告、納入で不便を感じないから」29.7%、「電子申告、納入のやり方が分からないから」26.9%となっている。

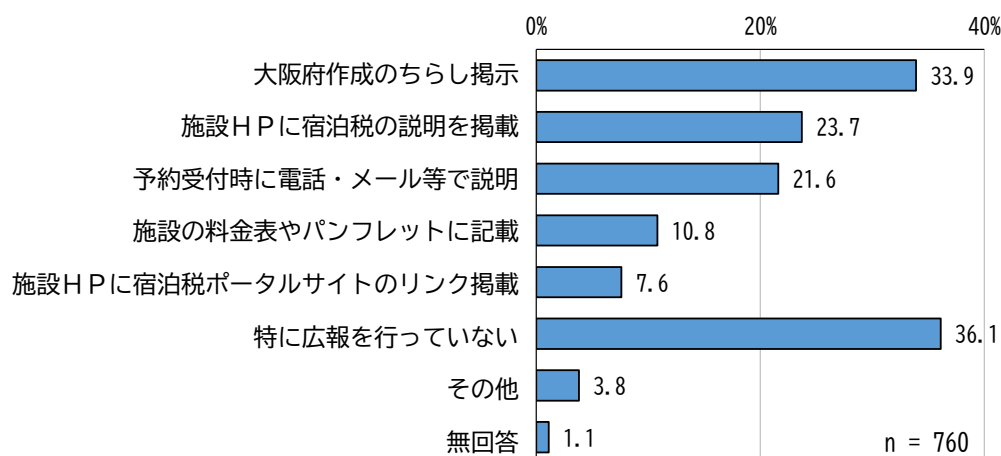


4. その他

(1) 宿泊税の広報

Q 9. 貴施設では、宿泊税についてどのように広報をしていますか。(複数選択可)

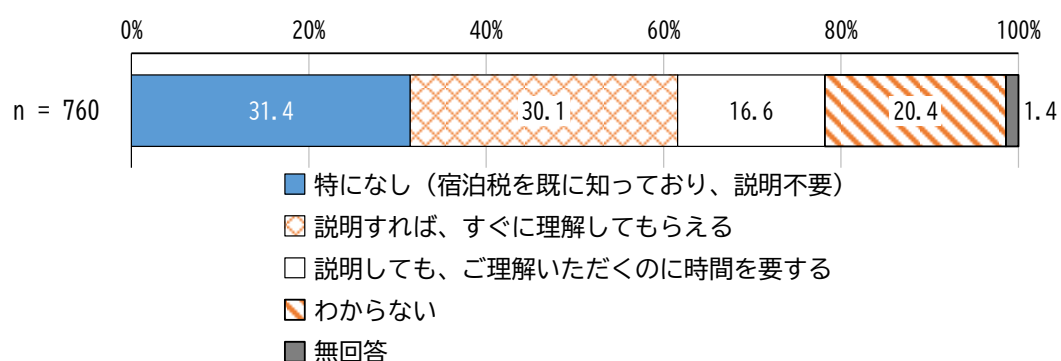
宿泊税の広報は「特に広報を行っていない」が 36.1%で最も高く、広報内容では「大阪府作成のちらし掲示」33.9%、「施設ＨＰに宿泊税の説明を掲載」23.7%、「予約受付時に電話・メール等で説明」21.6%が高くなっている。



(2) 宿泊税に対する宿泊客の反応

Q10. 直近１年間で、宿泊税の広報・説明に対して、貴施設の宿泊客の反応で多いものはどれですか。(１つ選択)

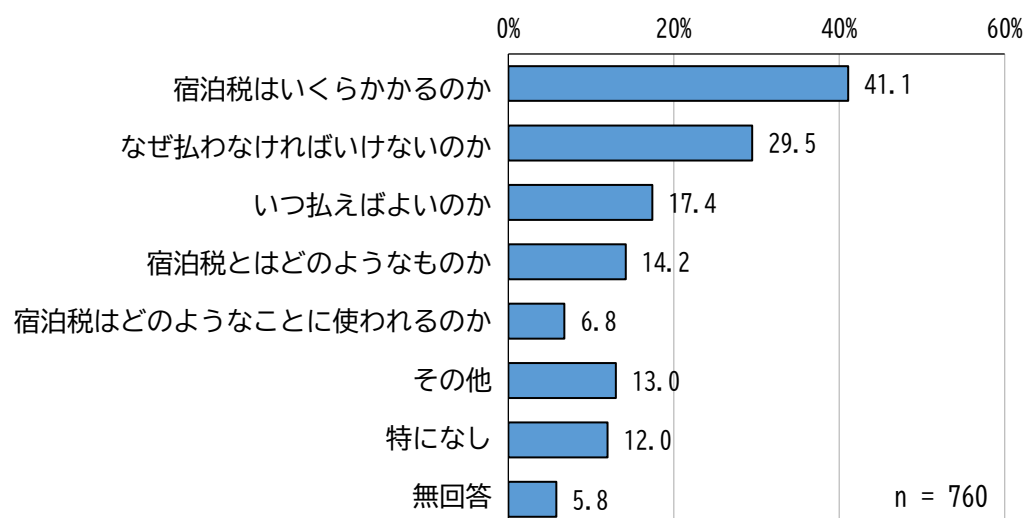
宿泊税に対する宿泊客の反応は「特になし（宿泊税を既に知っており、説明不要）」が 31.4%で最も高く、次いで「説明すれば、すぐに理解してもらえる」30.1%、「わからない」20.4%、「説明しても、ご理解いただくのに時間を要する」16.6%となっている。



(3) 宿泊税に関する問い合わせ

Q11. 直近1年間で、宿泊税についてどのような問い合わせがありましたか。(複数選択可)

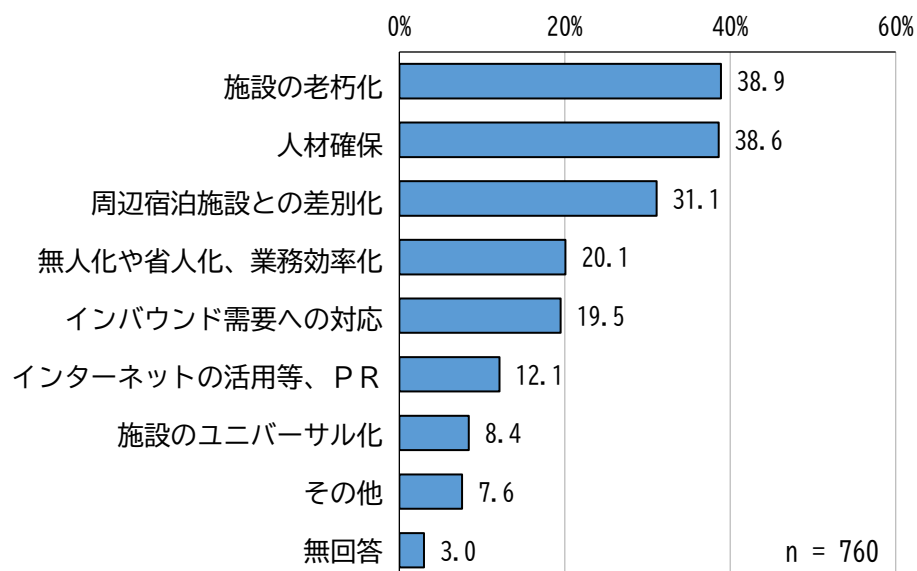
宿泊税に関する問い合わせは「宿泊税はいくらかかるのか」が41.1%で最も高く、次いで「なぜ払わなければいけないのか」29.5%、「いつ払えばよいのか」17.4%が続いている。



(4) 施設における課題

Q12. 貴施設が抱える課題をお教えてください。(複数選択可)

施設における課題は「施設の老朽化」が38.9%で最も高く、次いで「人材確保」38.6%、「周辺宿泊施設との差別化」31.1%が続いている。



(5) 大阪府宿泊税事業への要望

Q13. 現在大阪府で取り組んでいる宿泊税活用事業で知っている事業や、今後取組で欲しいことについて、ご意見をお聞かせください。

大阪府宿泊税事業への要望は、300 施設から 317 件のご意見をいただき、主な内容は以下の通り。

内容	件数	代表的な意見（抜粋）
民泊	60	民泊対策推進事業
		民泊事業のイメージアップに取り組んでほしい。一部の事業者や宿泊客の報道によって民泊全体のイメージが悪くなっている
		民泊事業者への指導を強化し、より良いサービスを提供できるようにしてほしい
徴収事務・納付手続き	36	予約サイトで徴収するなど、OTAと連携した徴収事務の簡素化
		日本人にも理解されておらず説明が難しい
		これ以上施設側の負担を増やさないでほしい
		日本人にも理解されておらず説明が難しい
使い道などの周知、説明ツールの整備	29	宿泊税について、海外からの観光客に発信してほしい
		宿泊税がなんのためにどのように使われているかを宿泊施設にも宿泊者にも納得のいくように周知してほしい
		宿泊税の使い道を分かりやすく見れるサイトなどを作ってほしい
		施設側にも事業内容の開示を積極的に行ってほしい
宿泊税制度	20	宿泊税は出入国時に徴収してほしい
		大阪市外の活用事業にも取り組んでほしい
		わかりやすい一律金額にしてほしい
宿泊施設への補助・還元	19	施設の老朽化対策やバリアフリー工事に補助金を出してほしい
		IT導入や多言語対応などに補助金を出してほしい
開発・集客・PR	30	イベント開催など観光資源を充実させ大阪の魅力を高める
		大阪市以外の市区町村の集客にもっと力を注いでほしい
		混雑している中心街以外への観光客誘致
環境整備・美化・公衆衛生	26	ゴミ箱とトイレの設置
		喫煙所の設置、案内
		公共スペースの清掃
		街の美化
交通・観光インフラ	24	駅周辺での荷物預かりサービスの拡充
		荷物預かりや路面整備など大型荷物の対策
		交通アクセスの整備、バリアフリー化
外国人	27	多言語での観光案内や案内表示
		日本のマナー周知
		周辺店舗のインバウンド理解と受け入れ促進
その他	46	オーバーツーリズム対策
		安心・安全の確保に取り組んでほしい
		地域の理解促進

(6) 宿泊税に関するご意見

Q14. その他、宿泊税について、ご意見があればご記入ください。

宿泊税に関するご意見は、240 施設から 269 件のご意見をいただき、主な内容は以下の通り。

内容	件数	代表的な意見（抜粋）
徴収事務・納付手続き	76	OTAと連携して徴収や申告事務を軽減してほしい
		OTAで決済時に徴収できるようにしてほしい
		宿泊施設の負担を増やさないでほしい
		オンライン手続き
		宿泊料金と別に施設が取るには限界があり、持ち出しになっている場合もある
		毎月の申告は頻度が高く事務負担が大きい
使い道などの周知、説明ツールの整備	53	どこの国の方でも目に留まる公共の場、公共施設に広報を増やしてほしい
		認知度が低く、宿泊者への説明が大変
		もっとわかりやすい広報ツールを配布して欲しい
		制度や金額について宿に掲示できるポスターやポップがほしい
		宿泊税がどのように役立っているのか、成果が幅広く周知されると徴収する側としても携わりやすくなる
		使い道を明確に公表してほしい
宿泊税制度	36	使い道を明確に公表して、施設にも知らせてほしい
		国レベルで空港で徴収してほしい
		旅行者・施設・住民が納得できる使い方をしてほしい
税額・計算	28	宿泊税を徴収していない都道府県もあり不公平感がある
		計算が複雑なのでもっとシンプルにしてほしい
		増税について宿泊客に説明しづらい
受入れ環境整備	20	徴収対象となる宿泊金額の基準を上げてほしい/下げてほしい
		安全できれいな街づくり
		車椅子の貸し出しを充実させてほしい
		大型のキャリアが入るコインロッカーを増やしてほしい
		手荷物預かりサービスを充実させてほしい
施設や地域への還元・補助	18	インバウンドだけに向けたものではなく、日本人のためにも使ってほしい
		日ごろ協力してくれている地域の人に還元してほしい
		観光業や宿泊業にも恩恵があるような仕組みがほしい
その他	38	宿泊施設の修繕やキャンセル料未払いなどの補助をしてほしい
		日本のマナーについて多言語で周知してほしい
		多言語対応強化
		違法民泊の是正
		イベント開催などの観光施策

調査票

I. 府民調査

必須 Q1.

あなたの年齢をお知らせください。(数値記入)
※半角数字でご記入ください。

歳

必須 Q2.

あなたの性別をお知らせください。(1つ選択)

- ☐ 男性
☐ 女性
☐ 回答しない

必須 Q3-1.

あなたが現在お住まいになっている地域についてお知らせください。(1つ選択)

▼▼▼選択して下さい▼▼▼

必須 Q3-2.

あなたが現在お住まいになっている地域についてお知らせください。(1つ選択)

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| <input type="radio"/> 大阪市 | <input type="radio"/> 藤井寺市 |
| <input type="radio"/> 堺市 | <input type="radio"/> 東大阪市 |
| <input type="radio"/> 岸和田市 | <input type="radio"/> 泉南市 |
| <input type="radio"/> 豊中市 | <input type="radio"/> 四條畷市 |
| <input type="radio"/> 池田市 | <input type="radio"/> 交野市 |
| <input type="radio"/> 吹田市 | <input type="radio"/> 大阪狭山市 |
| <input type="radio"/> 泉大津市 | <input type="radio"/> 阪南市 |
| <input type="radio"/> 高槻市 | <input type="radio"/> 島本町 |
| <input type="radio"/> 貝塚市 | <input type="radio"/> 豊能町 |
| <input type="radio"/> 守口市 | <input type="radio"/> 能勢町 |
| <input type="radio"/> 枚方市 | <input type="radio"/> 忠岡町 |
| <input type="radio"/> 茨木市 | <input type="radio"/> 熊取町 |
| <input type="radio"/> 八尾市 | <input type="radio"/> 田尻町 |
| <input type="radio"/> 泉佐野市 | <input type="radio"/> 岬町 |
| <input type="radio"/> 富田林市 | <input type="radio"/> 太子町 |
| <input type="radio"/> 寝屋川市 | <input type="radio"/> 河南町 |
| <input type="radio"/> 河内長野市 | <input type="radio"/> 千早赤阪村 |
| <input type="radio"/> 松原市 | |
| <input type="radio"/> 大東市 | |
| <input type="radio"/> 和泉市 | |
| <input type="radio"/> 箕面市 | |
| <input type="radio"/> 柏原市 | |
| <input type="radio"/> 羽曳野市 | |
| <input type="radio"/> 門真市 | |
| <input type="radio"/> 摂津市 | |
| <input type="radio"/> 高石市 | |

必須 Q4.

大阪府内の宿泊施設の利用頻度についてお知らせください。(1つ選択)

- ☐ 宿泊利用なし
☐ 年1回未満(数年に1回程度)
☐ 年1~3回
☐ 年4回以上

必須 Q5.

「大阪府宿泊税」について知っていますか?(1つ選択)

- ☐ よく知っている
☐ なんとなく知っている
☐ 知らなかった

必須 Q6.

宿泊税の使い道(観光振興・インフラ整備等)を知っていますか?(1つ選択)

- ☐ よく知っている
☐ なんとなく知っている
☐ 知らなかった

必須 Q7.

宿泊税について知ったきっかけについて、当てはまるものはどれですか。(複数選択可)

- ☐ 旅行会社のHPや宿泊予約サイト
☐ 宿泊施設のフロントでの説明
☐ 宿泊施設のHP・SNS
☐ テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、ガイドブック
☐ 友人、知人からの情報
☐ 宿泊施設からの電話やメール
☐ 大阪府のHPやポスター、チラシ
☐ 宿泊施設の料金表やパンフレット
☐ その他

必須 Q8.

大阪府宿泊税（1人1泊200～500円）について、負担を感じますか？（1つ選択）

- ☐ 非常に負担を感じる
- ☐ やや負担を感じる
- ☐ ほとんど負担に感じない
- ☐ 全く負担に感じない

必須 Q9.

宿泊税は、大阪が世界有数の国際都市として発展していくことを目指し、都市の魅力高めるとともに、観光の振興を図ることを目的に導入しました。あなたの普段の生活において次のうちあてはまるものはどれですか。（複数選択可）

- ☐ まちに活気があると感じる
- ☐ 魅力的な宿泊施設が増えたと感じる
- ☐ まちなかの交通の混雑が緩和されていると感じる
- ☐ まちなかの歩行環境がよくなったと感じる
- ☐ 観光施設や広場などが整備されたと感じる
- ☐ 観光施設の休憩スペースやトイレなどが快適に整備されたと感じる
- ☐ ポイ捨て防止や広告規制などによりまちの美化が保たれていると感じる
- ☐ 公共シェアサイクルが便利になったと感じる
- ☐ 自宅付近に宿泊施設（簡易宿所、民泊等）ができた
- ☐ わからない
- ☐ 特になし
- ☐ その他

必須 Q10.

自分の住む町に外国人観光客がたくさん訪れることでどのような影響がありますか。（複数選択可）

- ☐ 観光客が訪れることで、地域経済への好影響がある
- ☐ 新規出店が増加するなど買物環境が向上する
- ☐ まちなみが美しくなる、まちに活気が出るなど都市の魅力が向上する
- ☐ 大阪の文化や歴史に焦点が当たること、文化や歴史の維持・継承につながる
- ☐ 観光客と接する機会が増えることで、異文化交流が促進される
- ☐ 路線バスや地下鉄などの公共交通機関が混雑して迷惑する人がいる
- ☐ 道路が渋滞して迷惑する人がいる
- ☐ 観光客のマナー違反（ごみのポイ捨て、私有地への侵入など）によって迷惑する人がいる
- ☐ 宿泊施設が近隣にできたことに伴う良くない影響（騒音、ごみ、車両の出入りなど）によって迷惑する人がいる
- ☐ 観光客向けの商品を扱う店舗が増加し、住民向けの日用品を扱う店舗が減少して不便になる
- ☐ わからない
- ☐ 特になし
- ☐ その他

必須 Q11.

大阪府では宿泊税を活用して、旅行者の受入環境の整備や大阪の魅力向上・国内外へのプロモーションの推進に取り組んでいます。それぞれの取り組みについて、当てはまるものをお選びください。（それぞれ1つずつ選択）

①【観光客と地域住民相互の目線に立った受入環境整備の推進】

- ☐ とても評価できる
- ☐ 評価できる
- ☐ あまり評価できない
- ☐ 評価できない
- ☐ わからない

（参考）主な取組事例

- ・観光客が必要とするサービスを提供するトラベルサービスセンターを設置
- ・宿泊施設が実施する、施設内以外に宿泊客の多量滞在が可能な設備、トイレの増設などの環境整備を実施
- ・観光客が手軽に、自由に移動できる移動案内（Way-Find）による案内の提供
- ・観光客の利便性・快適性向上を図るために、各観光施設と連携し、大阪府・自治体観光局における案内表示（サイン）を設置



※画像をクリックすると拡大画像がご覧いただけます。

②【魅力づくり及び戦略的なマーケティング、プロモーションの推進】

- ☐ とても評価できる
- ☐ 評価できる
- ☐ あまり評価できない
- ☐ 評価できない
- ☐ わからない

（参考）主な取組事例

- ・国内外から集まる魅力づくりの推進を図るため、観光客約400名のイベントを開催し、インパクトある出店を創出する「観光客イノベーション」を実施
- ・国内外からの観光客を誘引するため、大阪のメインストリートである難波駅において、平日夜のランニングイベントを開催する「ランニング・イベント」を開催し、大阪の魅力を国内外へ広く発信
- ・大阪が誇る伝統文化や食文化を継承し、多様な観光客のニーズに合わせた観光客向けに、伝統文化・食文化の体験型イベントを開催し、観光客の滞在体験を向上させる



※画像をクリックすると拡大画像がご覧いただけます。

必須 Q12.

宿泊税の使い道として、優先的に活用してほしい分野は何ですか？（複数選択可）

- ☐ 観光資源の保全・魅力向上（景観の整備、観光地の美化等）
- ☐ 観光施設や宿泊施設の環境整備（バリアフリー化、衛生対策、ICT化）
- ☐ 多言語対応や案内表示の充実
- ☐ 観光プロモーションの強化
- ☐ 交通アクセスの改善（空港、主要駅から観光地までの交通整備、案内サイン設置等）
- ☐ 地域文化、伝統行事の継承・発信（歴史資源・伝統芸能の継承、地域特産品のブランド化）
- ☐ 観光人材の育成（接客・語学研修、ガイド養成等）
- ☐ 自然環境の保全、持続可能な観光の推進（景観地の環境保全、エコツーリズム等）
- ☐ 災害時の対応（多言語による避難誘導等）
- ☐ その他

必須 Q13.

大阪観光でおすすめしたい場所やもの、穴場スポット等について、お聞かせください。

必須 Q14.

現在大阪府で取り組んでいる宿泊税を活用した事業で知っている事業や、今後取り組んで欲しいことについて、ご意見をお聞かせください。

必須 Q15.

その他、宿泊税について、ご意見があればご記入ください。

（制度、使い道、広報ツールなど）


II. 観光客調査

① 日本語	調査員：	地点 1. 関空 2. 大阪城 3. 難波	調査日 9 /	N0.
-------	------	-----------------------	---------	-----

大阪府 宿泊税認知度等に関する調査

Q1. 年齢	1. 20歳未満 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60歳以上
Q2. 性別	1. 男性 2. 女性 3. 回答しない
Q3. 居住地	1. 大阪府内 2. 大阪府外（国内） 3. 海外（国： ）
Q4. 大阪府への訪問頻度	1. 初めて 2. 年1回未満（数年に1回程度） 3. 年1～3回 4. 年4回以上

Q5. 今回大阪へお越しになった主な目的をお聞かせください。（〇はいくつでも）

1. 観光  どのような観光スポットへ訪問したか具体的にお聞かせください。
2. ビジネス、出張 3. 友人、親族訪問
4. イベント、コンサート、スポーツ観戦 5. 買い物、グルメ
6. 医療、治療 7. その他（ ）

Q6. 「大阪府宿泊税」について知っていますか？（〇はひとつ）

1. よく知っている 2. なんとなく知っている 3. 知らなかった

Q7. 宿泊税の使い道（観光振興・インフラ整備等）を知っていますか？（〇はひとつ）

1. よく知っている 2. なんとなく知っている 3. 知らなかった

（※ Q6またはQ7で「よく知っている」「なんとなく知っている」と回答した人に）

Q8. 宿泊税について知ったきっかけについて、当てはまるものはどれですか。（〇はいくつでも）

1. 旅行会社のHPや宿泊予約サイト 2. 宿泊施設のフロントでの説明
3. 宿泊施設のHP・SNS 4. テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、ガイドブック
5. 友人、知人からの情報 6. 宿泊施設からの電話やメール
7. 大阪府のHPやポスター、チラシ 8. 宿泊施設の料金表やパンフレット
9. その他（ ）

Q9. 宿泊税は、大阪が世界有数の国際都市として発展していくことをめざし、都市の魅力を高めるとともに、観光の振興を図ることを目的に宿泊税を導入しました。

大阪府の宿泊税（1人1泊200～500円）について、負担を感じますか？（〇はひとつ）

1. 非常に負担に感じる 2. やや負担に感じる
3. ほとんど負担に感じない 4. 全く負担に感じない

Q10. 大阪府では宿泊税を活用して、旅行者の受入環境の整備や大阪の魅力向上・国内外へのプロモーションの推進)に取り組んでいます。

それぞれの取組について、当てはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

① 観光客と地域住民相互の目線に立った受入環境整備の推進

- | | | |
|--------------|-----------|----------|
| 1. とても評価できる | 2. 評価できる | |
| 3. あまり評価できない | 4. 評価できない | 5. わからない |

〈参考〉主な取組例

- ・観光客が必要とするサービスをワンストップで提供するトラベルサービスセンターを設置
- ・宿泊施設が実施する、施設内の案内表示の多言語化や Wi-Fi の設置、トイレの洋式化などの環境整備等を支援
- ・観光客が手軽に、欲しい情報を入手できる情報通信 (Free Wi-Fi) にかかる環境の整備
- ・来阪旅行者の周遊性・利便性向上を図るために、各鉄道事業者と連携し、大阪駅・梅田駅周辺における案内表示 (サイン) を統一



トラベルサービスセンターの運営



Free Wi-Fi の設置促進



案内表示の整備

② 魅力づくり及び戦略的なマーケティング、プロモーションの推進

- | | | |
|--------------|-----------|----------|
| 1. とても評価できる | 2. 評価できる | |
| 3. あまり評価できない | 4. 評価できない | 5. わからない |

〈参考〉主な取組例

- ・国内外から集客できる魅力づくりの推進を図るため、御堂筋全長約 4 km のイチョウ並木を装飾し、インパクトある光空間を創出する「御堂筋イルミネーション」を実施。
- ・国内外からの誘客促進を図るため、大阪のメインストリートである御堂筋において、非日常的なオンリーワンコンテンツを実施するイベント「御堂筋オータムパーティー」を開催し、大阪の魅力を国内外へ広く発信。
- ・大阪が誇る上方伝統芸能や上方演芸をはじめ、多彩で豊かな文化の魅力を広く国内外に発信するため、全国的に著名な能楽師や狂言師を招き、屋外でかがり火を焚いて演じる薪能 (たきぎのう) を大阪城西の丸庭園で開催。



御堂筋イルミネーション



御堂筋オータムパーティー



大阪城西ノ丸薪能 2024

1. 観光資源の保全・魅力向上（景観の整備、観光地の美化 等）
2. 観光施設や宿泊施設の環境整備（バリアフリー化、衛生対策、ICT 化）
3. 多言語対応や案内表示の充実
4. 観光プロモーションの強化
5. 交通アクセスの改善（空港・主要駅から観光地までの交通整備、案内サイン設置 等）
6. 地域文化、伝統行事の継承・発信（歴史資源・伝統芸能の継承、地域特産品のブランド化）
7. 観光人材の育成（接遇・語学研修、ガイド養成 等）
8. 自然環境の保全、持続可能な観光の推進（景観地の環境保全、エコツーリズム 等）
9. 災害時の対応（多言語による避難誘導 等）
10. その他（ ）

1. まちに活気があると感じた
2. 魅力的な宿泊施設が多いと感じた
3. 多言語による案内が充実していると感じた
4. 観光案内機能が充実していると感じた
5. まちなかの交通の混雑が緩和されていると感じた
6. 観光施設や広場などが整備されていると感じる
7. 観光施設の休憩スペースやトイレなどが快適に整備されていると感じる
8. ポイ捨てなどによるごみの散乱がなくまちの美化が保たれていると感じる
9. 通信環境が整っていると感じた（FreeWi-Fi など）
10. 小さな子ども連れへの配慮が整っていると感じた
11. その他（ ）

1. 通信環境（FreeWi-Fi など）
2. 決済手段（キャッシュレス決済の対応していない等）
3. 多言語表示の少なさ・わかりにくさ（観光案内板・地図等）
4. 施設等のスタッフとのコミュニケーション（母国語が通じない等）
5. 公共交通の利用（乗り場、経路の情報、乗換方法等）
6. 観光案内所の利用や観光地での案内
7. 宿泊施設や空港などへの荷物の配送サービス
8. トイレの利用、場所、設備
9. 多様な文化・生活習慣への配慮（礼拝室、食事等）
10. ゴミ箱の少なさ
11. その他（
12. 困ったことはなかった

--

(制度、使い道、広報ツール など)

Ⅲ. 宿泊事業者調査

インターネット回答用 ID:XX000

▶ ご回答は、管理者もしくは各部門ご担当の方をお願いいたします。

大阪府 宿泊税認知度等に関する調査

●本調査はインターネットでご回答いただくこともできます。

インターネットでご回答いただく場合は、右記の QR コードからアクセスし、
本紙右上に記載の「インターネット回答用 ID」を入力してご回答ください。

●郵送でご回答いただく場合は、この用紙に直接回答を記入してください。



1. 基本情報			
Q1. 施設の種別	1. 旅館	2. リゾートホテル	3. ビジネスホテル
	4. シティホテル	5. 簡易宿所	
	6. 特区民泊	※国家戦略特別区域法における外国人滞在施設経営事業施設	
	7. 新法民泊	※住宅宿泊事業法における届出施設	
Q2. 施設の所在地	1. 大阪市内	2. 大阪市外 → (市町村 :)

2. 宿泊税の使い道など

Q3. 宿泊税は、大阪が世界有数の国際都市として発展していくことをめざし、都市の魅力を高めるとともに、観光振興を図ることを目的に宿泊税を導入しました。

徴収した宿泊税は、どのように使われるのが望ましいと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------|--------------------------|
| 1. 多言語対応の強化 | |
| 2. 人手不足に対応するためのデジタル技術の活用や観光人材育成 | |
| 3. 通信環境の整備 (Free Wi-Fi など) | 4. 府域における交通アクセス等の容易化・円滑化 |
| 5. 文化・生活習慣に配慮した対応 | 6. 安心・安全の確保 |
| 7. 国内外から集客できる魅力づくりの推進 | 8. 積極的な大阪の魅力の情報発信 |
| 9. MICE 誘致の推進 | 10. オーバーツーリズムの抑止・抑制 |
| 11. その他 (|) |

Q4. 大阪府では宿泊税を活用して、旅行者の受入環境の整備や大阪の魅力向上・国内外へのプロモーションの推進）に取り組んでいます。

それぞれの取組について、当てはまるものに○をつけてください。（○はひとつずつ）

① 観光客と地域住民相互の目線に立った受入環境整備の推進

- | | | |
|--------------|-----------|----------|
| 1. とても評価できる | 2. 評価できる | |
| 3. あまり評価できない | 4. 評価できない | 5. わからない |

〈参考〉主な取組例

- ・観光客が必要とするサービスをワンストップで提供するトラベルサービスセンターを設置
- ・宿泊施設が実施する、施設内の案内表示の多言語化や Wi-Fi の設置、トイレの洋式化などの環境整備等を支援
- ・観光客が手軽に、欲しい情報を入手できる情報通信（FreeWi-Fi）にかかる環境の整備
- ・来阪旅行者の周遊性・利便性向上を図るために、各鉄道事業者と連携し、大阪駅・梅田駅周辺における案内表示（サイン）を統一



トラベルサービスセンターの運営



FreeWi-Fi の設置促進



案内表示の整備

② 魅力づくり及び戦略的なマーケティング、プロモーションの推進

- | | | |
|--------------|-----------|----------|
| 1. とても評価できる | 2. 評価できる | |
| 3. あまり評価できない | 4. 評価できない | 5. わからない |

〈参考〉主な取組例

- ・国内外から集客できる魅力づくりの推進を図るため、御堂筋全長約4kmのイチョウ並木を装飾し、インパクトある光空間を創出する「御堂筋イルミネーション」を実施。
- ・国内外からの誘客促進を図るため、大阪のメインストリートである御堂筋において、非日常的なオンリーワンコンテンツを実施するイベント「御堂筋オータムパーティー」を開催し、大阪の魅力を国内外へ広く発信。
- ・大阪が誇る上方伝統芸能や上方演芸をはじめ、多彩で豊かな文化の魅力を広く国内外に発信するため、全国的に著名な能楽師や狂言師を招き、屋外でかがり火を焚いて演じる新能（たきぎのう）を大阪城西ノ丸庭園で開催。



御堂筋イルミネーション



御堂筋オータムパーティー



大阪城西ノ丸新能 2024

Q 5. 宿泊施設における「おもてなし環境整備」のために、今後どのような取り組みが必要だとお考えですか。
(○はいくつでも)

1. 施設の案内表示や広報物の多言語化
2. オペレーターの導入又はタブレット端末等の多言語補助機器の整備
3. インバウンド受入対応に係る人材育成(研修等)
4. パスポートリーダーの整備
5. 文化、生活習慣に配慮した対応
6. 館内及び客室内における Wi-Fi 整備
7. 館内及び客室内のトイレの洋式化、洋式トイレの増設
8. キャッシュレス決済端末の導入
9. スーツケース等の輸送・一時預かりに係る整備
10. 子ども連れ環境の整備
11. 災害対応に係る事業
12. セルフチェックイン、セルフチェックアウト機、自動精算機の設置
13. キーレスシステムの整備
14. 受付、案内、清掃、運搬用ロボットの導入
15. チャットボット、24 時間 AI コンシェルジュ等の導入
16. 宿泊予約システム、ホテル管理システム(PMS)等の導入
17. その他 ()

3. 宿泊税の徴収事務

Q 6. 貴施設において苦勞していることについて、当てはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 特になし
2. 宿泊税徴収に関する宿泊客への説明
3. 宿泊税納入申告書等の提出
4. 府への宿泊税の支払い手続
5. その他 ()

Q 7. eLTAX (エルタックス) を利用した電子申告、納入ができることをご存知ですか。(○はひとつ)

1. 知っている
2. 知らない

〈参考〉eLTAX (エルタックス) を利用した電子申告、納入について

eLTAX をご利用いただくと、自宅やオフィスから、申告、申請・届出の提出、納入が可能です。

eLTAX の詳細については、eLTAX ホームページをご覧ください。

eLTAX ホームページはこちら▶



Q 8. 電子申告、納入を利用している又は利用しない理由は何ですか。Q 7 で初めて電子申告、納入のことを知った方は、今後、利用したい又は利用したくない理由をお答えください。(○はひとつ)

利用状況(利用意向)

1. 利用している(したい)
2. 利用しない(したくない)

- 理由
1. 自宅や職場で手続を行うことができるから
 2. 紙で管理する必要がなくなるから
 3. 用紙や切手代・交通費など、経費の節約になるから

- 理由
1. 電子申告、納入のやり方が分からないから
 2. 書面での申告、納入で不便を感じないから
 3. 電子証明書の取得など、準備に手間がかかるから

〈参考〉府税事務所における窓口納付の取扱いについて

大阪府ホームページ(納税について)はこちら▼

令和 7 年 9 月 30 日をもって、各府税事務所内の指定金融機関窓口が廃止となります。

令和 7 年 10 月 1 日以降、現金での納付は、金融機関窓口等をご利用ください。

eLTAX を用いた電子納入や「地方税統一 QR コード (eL-QR)」(※) も是非ご利用ください。



※「地方税統一 QR コード (eL-QR)」の印刷がある納入(納付)書は、地方税お支払サイトを利用した納入(インターネットバンキング、ペイジー(ATM等)、クレジットカード)やスマートフォン決済アプリを利用した納入ができます。

申告期限の 1 週間前までに、なほ北府税事務所へ申告書が届いており、納入(納付)書の発行依頼(送付を希望する場合は切手貼付した返信用封筒を同封)があった場合は、「地方税統一 QR コード (eL-QR)」の印刷がある納入(納付)書の送付(交付)が可能となります。

4. その他

Q9. 貴施設では、宿泊税についてどのように広報をしていますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| 1. 大阪府作成のちらし掲示 | 2. 施設 HP に宿泊税ポータルサイトのリンク掲載 |
| 3. 施設 HP に宿泊税の説明を掲載 | 4. 施設の料金表やパンフレットに記載 |
| 5. 予約受付時に電話・メール等で説明 | 6. 特に広報を行っていない |
| 7. その他 (|) |

Q10. 直近1年間で、宿泊税の広報・説明に対して、貴施設の宿泊客の反応で多いものはどれですか。

(〇はひとつ)

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 1. 特になし(宿泊税を既に知っており、説明不要) | 2. 説明すれば、すぐに理解してもらえる |
| 3. 説明しても、ご理解いただくのに時間を要する | 4. わからない |

Q11. 直近1年間で、宿泊税についてどのような問い合わせがありましたか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. なぜ払わなければいけないのか | 2. 宿泊税はいくらかかるのか |
| 3. 宿泊税とはどのようなものか | 4. いつ払えばよいのか |
| 5. 宿泊税はどのようなことに使われるのか | 6. その他 (|
| |) |

Q12. 貴施設が抱える課題をお教えてください。(〇はいくつでも)

- | | | |
|-----------------|-------------------|------------------|
| 1. 施設の老朽化 | 2. 人材確保 | 3. 無人化や省人化、業務効率化 |
| 4. インバウンド需要への対応 | 5. インターネットの活用等、PR | 6. 施設のユニバーサル化 |
| 7. 周辺宿泊施設との差別化 | 8. その他 (|) |

Q13. 現在大阪府で取り組んでいる宿泊税活用事業で知っている事業や、今後取組で欲しいことについて、ご意見をお聞かせください。

Q14. その他、宿泊税について、ご意見があればご記入ください。

(制度、使い道、広報ツール など)

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒(切手不要)で10月8日(水)までにご投函ください。

<大阪府からのお知らせ>

大阪府宿泊税システム改修費補助金事業

- ・令和7年9月1日の宿泊税制度の改正に伴い、改正条例案の可決日である、令和6年11月5日以降に実施された、宿泊施設におけるレジシステムの改修等に要する経費の一部を支援する「大阪府宿泊税システム改修費補助金事業」を新たに実施する予定です。
- ・制度の詳細が確定しましたら、以下のホームページで改めてご案内します。

https://www.pref.osaka.lg.jp/o070070/toshimiryoku/syukuhakuzeisisutemukaishyu_hozyo/index.html

大阪府 HP (大阪府宿泊税システム改修補助金) はこちら▶



令和7年度
宿泊税認知度等に関する調査
結果報告書

発行年月 令和7年10月
発行 大阪府 府民文化部 都市魅力創造局 企画・観光課
〒559-0034
大阪市住之江区南港北1丁目14-16
大阪府咲洲庁舎（さきしまコスモタワー）37階
TEL：06-6210-9314 / FAX：06-6210-9316